

「環境未来都市」構想

東海「みかわ路」モデルプロジェクト< 素案 > 提案

提案者 杉山欽哉

多府省間連携コーディネータ

(財)日本立地センター内(全国イノベーション推進機関ネットワーク 個人会員)

<国土交通省登録 不動産鑑定士補 行政書士>

添付ファイル ①環境未来都市実現に向けたアピールポイント事例

②都市/地域レベル プラグイン制作コンソーシアム

③地域活性化まちづくりに取り組む都市地域連携

「環境未来都市」構想

東海「みかわ路」モデル 提案

環境・地旅グルメ・高齢者対応集積都市連携 モデルプロジェクト 素案

国(内閣官房)地域活性化統合本部

プロジェクト実施中

基礎自治体

岡崎市・豊田市・刈谷市
安城市・碧南市・西尾市
知立市・高浜市・みよし
市・幸田町

人口約156万人総ぐるみ
(中規模県並み)

CSRトヨタ自動車
はじめとする社会貢献
参加企業連携
(仮称)地域イノベーション
推進協議会

民産学官連携
広域中間支援組織

事業主体(仮称)有限責任中間法人
西三河革新推進コンソーシアム
オブザーバー愛知県

慶應義塾大学
大学院SDM研究科
「環境共生」
「社会協生」

岡崎統合バイオサイエンスセンター
自然科学研究機構
西三河交流圏協議会
矢作川流域交流圏

定住自立圏構想

総務省 中心市宣言
西尾市・刈谷市(知立市・
高浜市・東浦町連携)
要件満たす市:豊田市・
安城市

地域福祉計画

「新しい地域共助」
厚労省 高浜市
策定済 岡崎市 刈谷市
安城市 西尾市 高浜市
碧南市 みよし市

環境モデル都市

経産省 豊田市(実証実験を実施中)
協議会構成員参加 刈谷市 安城市

中心市街地活
性化 経産省

認定地域活性化計画
豊田市

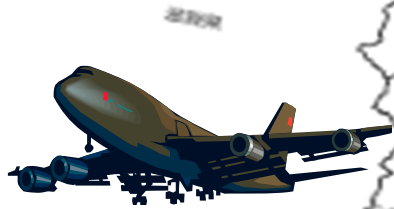
広域的
地域活性化
基盤整備

国交省 愛知県
愛知県三河山間地域

拠点施設：国際交流・国際物流等地域公共交通施設

西三河交流圏
推進協議会

セントレア(中部国際空港)・(仮称)三河湾新設計画
西三河都市部南北間アクセス強化基盤施設



東海 矢作川環境共生流域圏都市連携

流域圏一体化の取り組み

- ・ 矢作川流域圏には、河川管理者だけでは解決できない課題がある。
このため、矢作川水系河川整備計画に「流域圏一体化の取り組み」が位置づけられた。

①流域圏住民・関係者の連携強化

- ・ 組織の連携強化、ネットワーク化
- ・ 川づくり、森づくり等の活動に関する情報発信
- ・ 「**流域圏懇談会(案)**」による情報共有、意見交換

②流域圏住民の啓発活動

- ・ 「流域は一つ、運命共同体」の意識醸成
- ・ 学習会、防災訓練等の実施
- ・ 洪水、土砂災害ハザードマップの作成・公表支援
- ・ 節水型の地域づくり
- ・ 河川愛護活動への支援

③行政と住民が連携した調査・研究の充実

- ・ 定期的な環境調査、水質監視、土砂動態の把握
- ・ 研究成果を情報共有、発信

④河川を中心とした社会基盤形成及び地域の活性化

- ・ 農山村の活性化への協力
- ・ 川づくりとまちづくりの一体的な整備
- ・ 社会基盤形成及び地域の活性化



※「矢作川流域圏」: 矢作川の流域及びその利水地域、及び矢作川が注ぐ三河湾における森・川・海までの水・物質循環系の圏域(愛知・岐阜・長野県内)

東海 西三河の自律化。地域力強化。国際競争力強化。

現状：西三河地域は、わが国最大の自動車関連産業集積地。日本一元気な地方都市圏域
課題：東名・名神高速道路・東海環状道・伊勢湾岸道など広域交流基盤が位置しているものの、
西三河南北間はその機能を十分に生かしていない。

ねらい

アジア、世界のゲートウェイ **セントレア** (中部国際空港) から (仮称)三河湾港から

高速道路網へのアクセス強化等を行うことにより、
空港・港湾等の社会基盤も、国際的に魅力あるものに**地域力強化**する。

①海外からのビジネス客や
観光交流客と国際物流の
移動機能強化。

②自動車関連産業さらなる
国際競争力強化。

③ポスト自動車産業となる
新市場創出と国際展開。
(クリエイティブ産業・環境エネルギー産業等)

高齢化率は低いが高齢者**激増**。対策必要
後継者不足で農山漁村地域の活力が低下

食料分野の「地産地消」の視点から輸送コスト削減。
食品流通システムの高度化・効率化。Co2削減。

矢作川環境共生流域圏内

④農林水産業創生・地域コミュニティ創生

新たな業態を開発し、6次産業化。
食料自給率100%確保。

安心安全な暮らし実現、環境・エネルギー分野の
「地産地消」事業創設 **地域の自律**。

①国際戦略総合特区

我が国の経済をけん引することが期待される産業の国際競争力の強化

環境・次世代エネルギー

バイオ・ライフサイエンス

農業

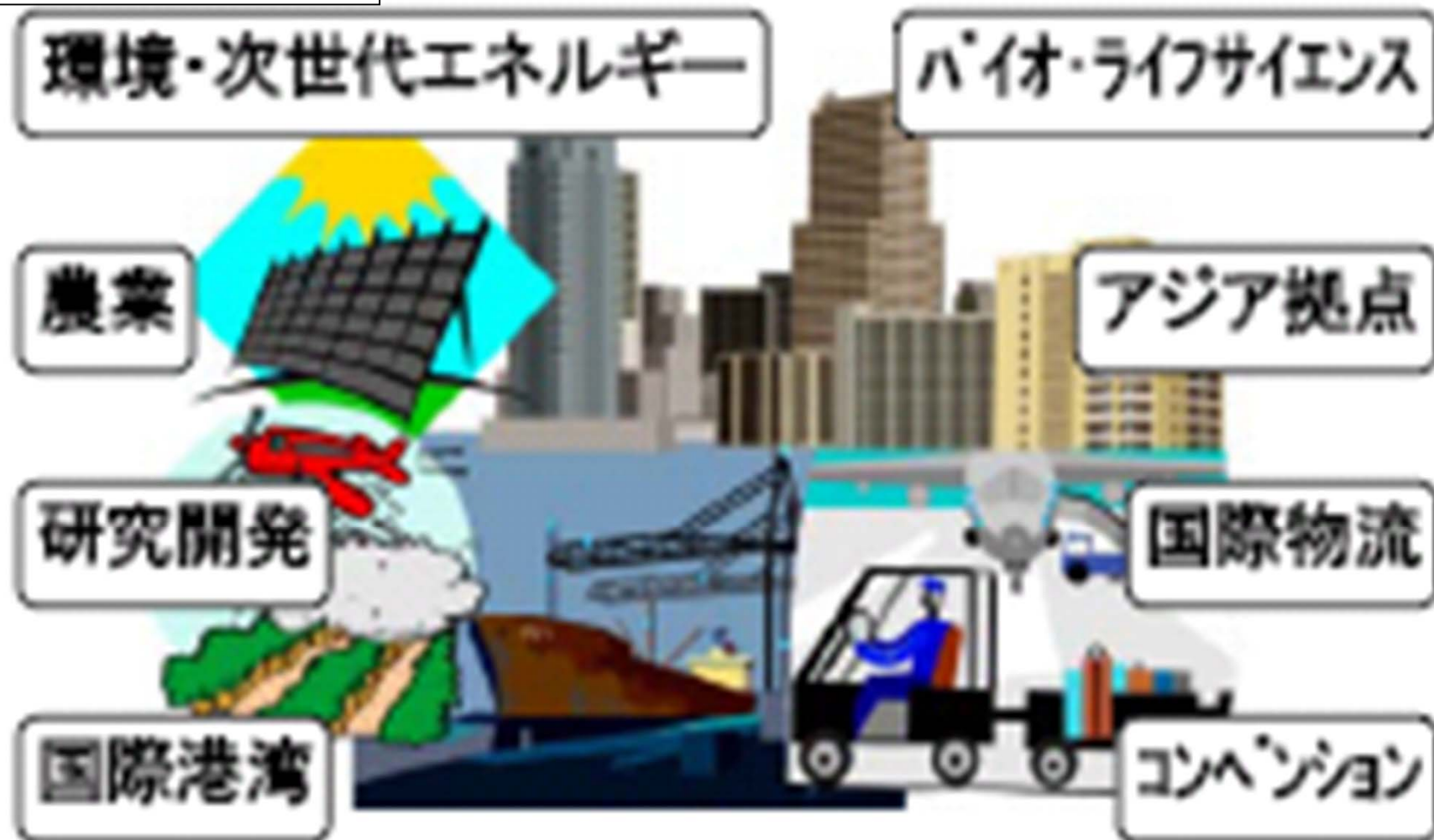
アジア拠点

研究開発

国際物流

国際港湾

コンベンション



基幹事業：**アクセス強化。新産業創出。暮らし向上推進。**

(都)衣浦岡崎線を高速道路化、高速鉄道化、地域公共交通、連携。

＜海外の都市とのアクセスの向上＞ ＜既存道路の上下空間の民間開放＞
空港アクセス鉄道等整備事業 国際交流・国際物流等 複合輸送施設整備事業

新産業(環境エネルギー産業等)創出。国際展開推進事業

ソーシャルベンチャー・コミュニティビジネス創出事業

一人ひとりソーシャルMyメディア。デジタルネットワーク基盤整備事業

矢作川環境共生流域圏域 生活者の安心安全 豊かな暮らし向上に

スマートコミュニティ コントロールセンター整備事業

コミュニティ新交通システム基盤整備事業

市街地内 LSA見守り付き 高齢者等共生住宅複合施設整備事業

＜地域交流、地域福祉、高齢者等共生住宅ユニバーサルモール＞

地域の絆再生事業

コントロールセンター

地域の情報・エネルギー・交通を
最適に管理する
コントロールセンター

- 企業・自治体・住民、他県・他国の様々なサービスを管理・提供する拠点
- 安価の多い自然エネルギーを地域内で有効活用するため、各家庭やオフィスで余った電力を地域内で有効利用
- 電気バスや電気自動車の位置情報と充電状態を管理することで、交通管理とエネルギー管理を一体化

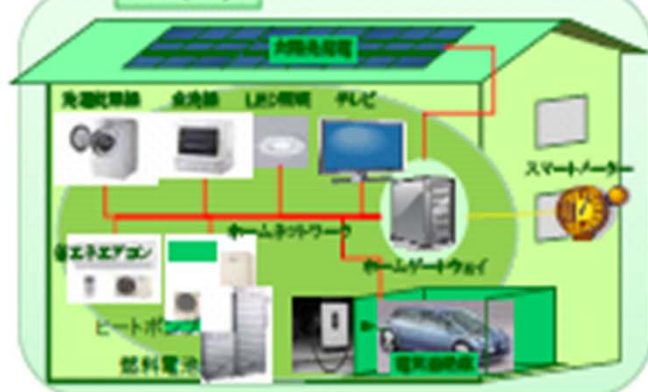


電気自動車を
電力インフラとして活用



電力不足時:電気自動車→家庭
電力過剰時:家庭→電気自動車

スマートハウス



蓄電池を搭載した路線電車

蓄電池を搭載した路線電車
駅での停車時:電池に充電
駅間の移動時:電気で駆動



急速充電ステーション

30分で80%充電



電気バス(将来は路線電車化)

電池交換式の電気バス。将来的には換装台を連結して路線電車化



主要施設: 貨客両用輸送施設

3層: 高規格高速自動車道

豊田市(豊田東IC)→岡崎市(岡崎IC)→西尾市→
碧南市→半田市(半田IC)→常滑市→セントレア間

岡崎環状線・(都)衣浦岡崎線
既設道路を高規格へ再整備

2層: 高速鉄道兼地域コミュニティ輸送道

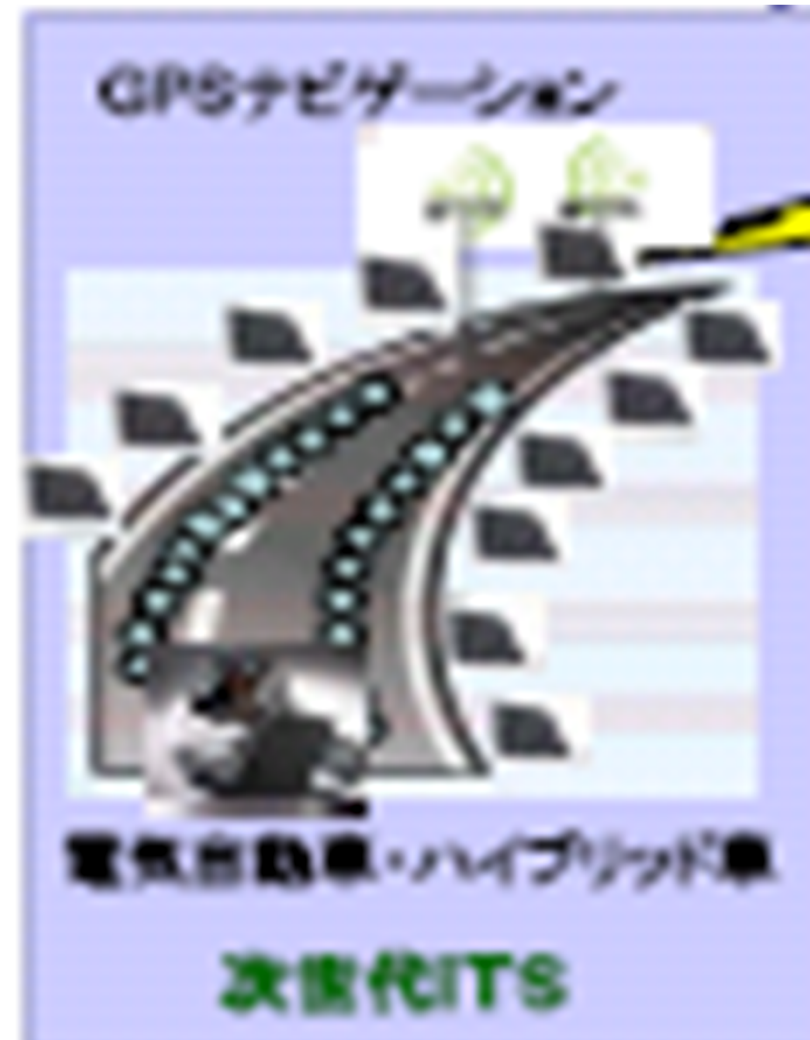
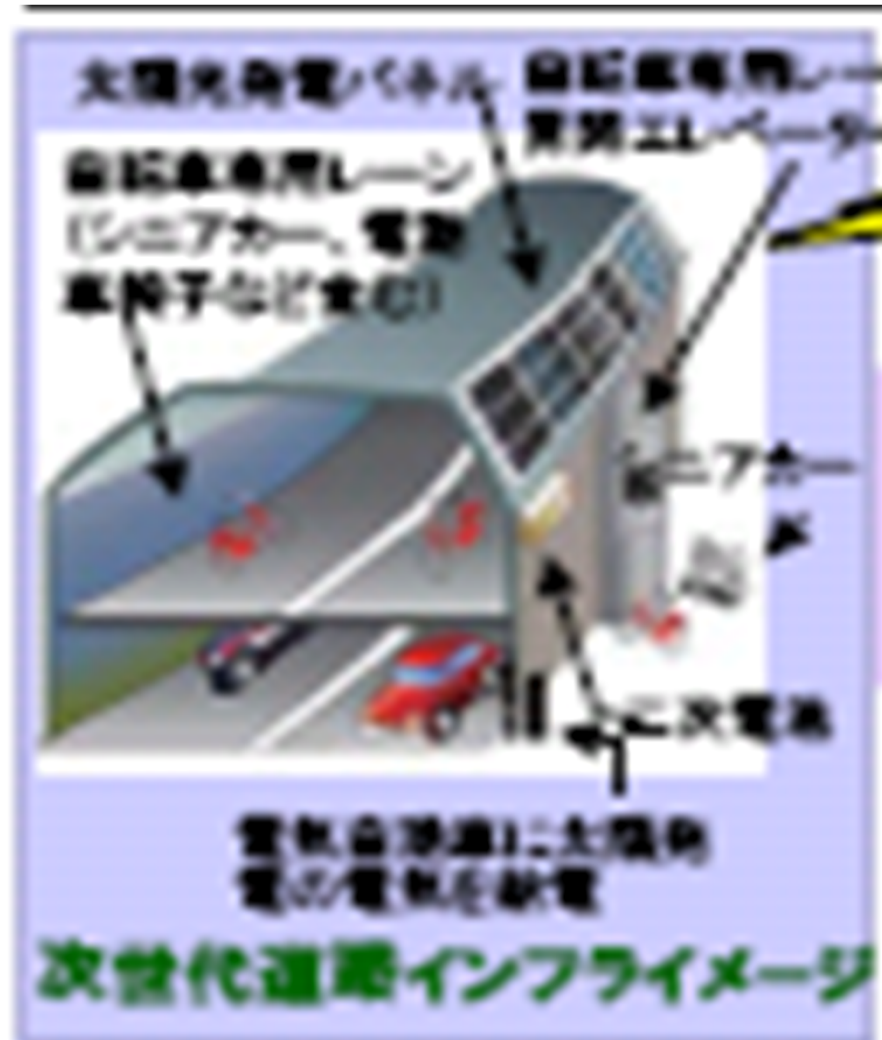
ハイブリッド: ニューパワートレイン
(DMV輸送システム)・PRT/市内線(RLTシステム)

豊田市駅<愛知環状鉄道>JR岡崎駅→岡崎福岡
→西尾市→碧南市→JR武豊駅→セントレア

1層: 貨物輸送専用地下道

自動車部品、量販店・コンビニ店納品物、
国際物流品・農林水産物等

コンテナベルコン輸送(静脈物流)
岡崎IC(動脈物流)東名高速物流新幹線構想



関連事業

トヨタ自動車新技術開発研究施設整備計画に伴う

(豊田市松平・下山地区 岡崎市額田地区)から

海外アクセス利便施設整備推進事業

岡崎市産業文化国際交流施設整備事業

JR岡崎駅前(岡崎市所有産業交流施設予定地)

MICE の積極的な誘致・開催の推進 事業

経産省・文科省・国交省・観光庁

(仮称)三ヶ根先端的国際共生デジタルシティ特区推進事業

西尾市幡豆町地内(愛知県所有地)・こどもの国有効活用

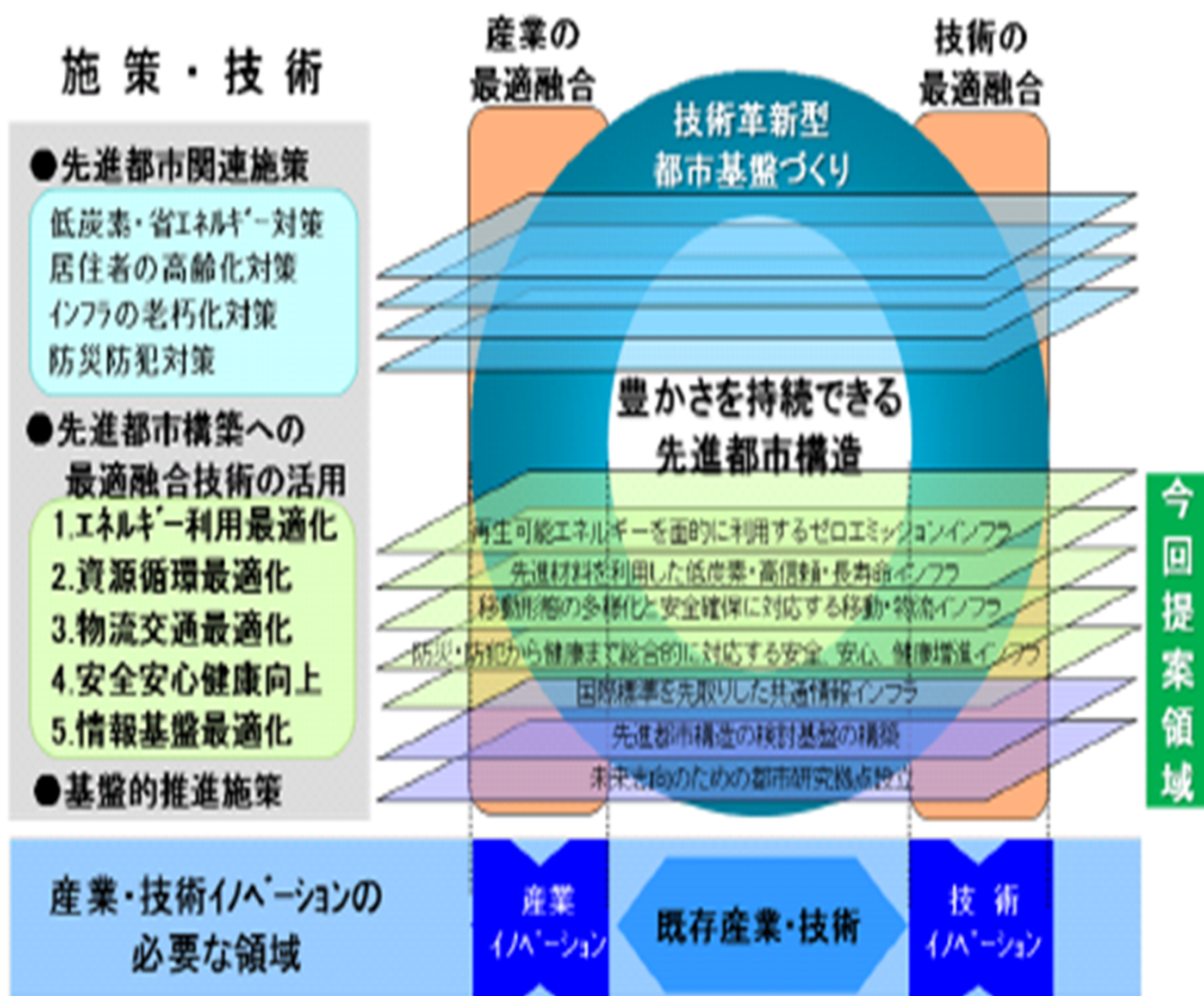


図 1-1 技術革新に対応する先進都市構造の構築に関わる提案のイメージ

計画の目標

国内外からの広域交流基盤強化により**地域生活者や来訪者の移動の便益確保と物流の円滑化。**
並び**地域生活者の暮らしの質向上及び地域情報・産業基盤強化による新産業創出。**
環境技術等と情報通信技術の融合による**地域間競争力及び国際競争力の強化。**

重点課題 1 IV ABC ④

- ・「**新しい公共**」コンテンツプラットフォーム
- ・< **新しい社会経済システム創出の情報基盤** >

重点課題 2 II ABC ④

- ・「**ふるさとコンテンツ**」のスマートグリッド活用可視化。
- ・< ネットワーク化。デジタルメディア化。経済価値化 >

重点課題 3 I A ②

- ・**食品生産・消費の効率化。高度化。**
- ・< **生鮮食品の地産地消・農商工連携・6次産業化** >

重点課題 4 IVAB ①②

- ・**シニア高齢者等「出番と居場所」**
- ・< 地域商店街の低炭素化。効率化。 >

重点課題 5 I A ②③

- ・**国内外からのMICE誘致の高度化。**
- ・< 国内外アジア連携・グローバル連携 >

重点課題 6 III B ②

- ・**ヒトモノ移動の効率化。高度化。**
- ・< **社会基盤整備・新公共交通システム** >

重点課題 7 I C ①

- ・**環境技術と情報通信技術の融合**
- ・< 地域情報・**再生可能エネルギー**・地域交通管理一体化 >

重点課題 8 I B ③

- ・**人財確保、育成・雇用の創出。新産業創出。**
- ・< クリエータ育成・ソーシャルビジネス起業 >

重点課題 9 I B ②

- ・**“地域の絆”創生。SC最大化。**
- ・< **高齢者等共生住宅複合モール整備** >

重点課題 10 I III BC ①②

- ・**中山間地生態系サービス再評価**
- ・< **エネルギー資源（バイオマス・小水力・太陽光）地産地消** >

東海 西三河地域 テーマ

「熟議」政策提言：方策の素案「みかわ路プラン」

- ねらい：東海 西三河地域の自律と地域力強化
 - 計画の目標 もくじ 地域の課題
 - 「環境未来都市」成功事例創出プロジェクト
 - （環境未来都市構想コンセプト）8p ~ 21p
- 基幹事業：
主要施設：
関連事業：
- 新成長戦略アクションプラン21該当事業
 - セントレア(中部国際空港)へアクセス強化
 - 三河湾 国際物流 港湾機能の強化
 - 三ヶ根「国際総合特区構想」プロジェクト
 - 三河安城 新幹線へアクセス強化
 - 三河環状線構想
 - 生活者の安心安全な豊かな暮らし確保
環境に配慮した再生可能エネルギー
 - 地域経済の起爆剤 MICE誘致
 - 新産業の創出と国際展開
 - 地域 中小企業の戦略的地域情報通信基盤活用
 - 農林水産業・農山漁村活性化
「地産地消」6次産業化、森林・林業再生プラン
 - 国際化（アジア・グローバル連携）つながり強化
 - 地域交流・地域福祉・高齢者等共生複合モール

西三河地域から経済社会構造を变革モデル

「環境未来都市」世界に類のない成功事例創出プロジェクト

3.11 壊滅的打撃 東北
太平洋沿岸地域から
復興モデル東北と西日本東海連携



持続可能な経済社会
構造の变革を実現する
第一歩を踏み出す



環境、健康、観光
を柱とする集中投資事業
「環境未来都市」構想
モデルプロジェクト

①公共交通の利用促進等による
都市・地域構造の低炭素化

②再生可能エネルギーやそれを支える
スマートグリッドの
構築

③適正な
資源リサイクル
の徹底

④情報通信
技術の活用

⑤住宅等の
ゼロエミッション化
など

エコ社会形成の取組

「環境未来都市」構想

国内外に誇れる

「緑豊かな、
人の温もりの感じられる」
まちづくり

① 未来に向けた技術

② 仕組み

③ サービス

④ まちづくり

世界トップクラスの成功事例
地域全体を輸出パッケージ

環境モデル都市 豊田市
実証実験を実施中

＜矢作川環境共生流域圏＞

「事業性、他の都市への波及効果」勘案

スマート
グリッド



再生
可能
エネルギー



次世代
環境自動車

都市地域エネルギー・マネジメント・システム構築
事業再編や関連産業の育成
再生可能エネルギーの総合的な利用拡大

4. 将来の在るべき姿

基本コンセプトと西三河地域の将来ビジョン

基本コンセプトを基に、
各都市・地域は
基本コンセプト
の実現へ

① 将来ビジョン
を明確に
描き

② 都市・地域のあらゆる
主体間で
共有が必要

③ 事業者や国民等の
積極的主体的
取組が促され

④ 多様な主体の連携に
よる **新たな力**
を生み出す
ことにつながる

⑤ **スピード感**を
持って取組を進めてい
くことができる。

基本コンセプトの策定に当たって、

① 課題の
重要性

② 我が国の
比較優位

③ アジア
市場の
将来性等

① **環境課題**
② **超高齢化対応課題**
成功モデル提示

民間企業にも大きな事業機会を提供
このような重要性・国際共通性の
高い課題に対応していく際には、
世界の潮流

都市・地域間の国際的ネットワーク
を積極的に活用し、
世界の英知を結集しながら取組

4-1 基本コンセプト①

西三河地域の将来ビジョン

①都市・地域における環境 ②超高齢化等状況

③自然的社会的条件

①歴史

②伝統

③文化

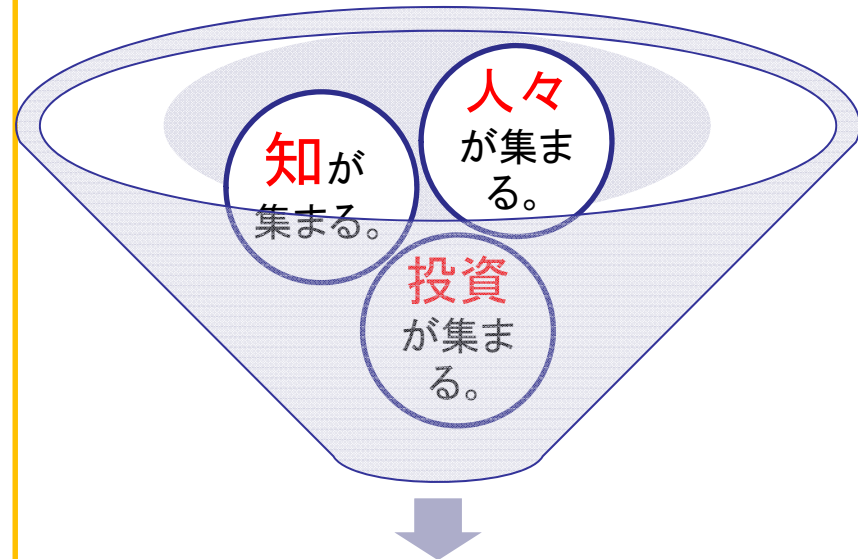
④人口

⑤産業
構造

⑥インフラ
等

「誰もが暮らしたいまち」
「誰もが活力あるまち」
人々の生活の質を向上

ソーシャル・キャピタルの
充実等による
社会的連帯感の回復を図りながら



それらが融合して、更なる価値が創造
される好循環を生み出し持続可能な
経済社会構造へ転換

リンク 地域文化資源(創造育成)創育システム

自然的社会的条件

①②③地域の文化財・伝統・歴史・景観・芸術・

- ・ 郷土料理等文化資源活用
- ・ 郷土情報デジタル化・ネットワーク化

三河地域の江戸時代からつながる、歴史、伝統、芸術文化をもとに 地域の自慢 我が家の自慢をネット上に紹介。

国内外から評価/共感の書き込み。

交流、おもてなしが始まる クリエイティブな人のサポートにより付加価値の高い情報発信。

今までの放送や通信でない、

新しい地域メディア「ちえ技ネット局」創設

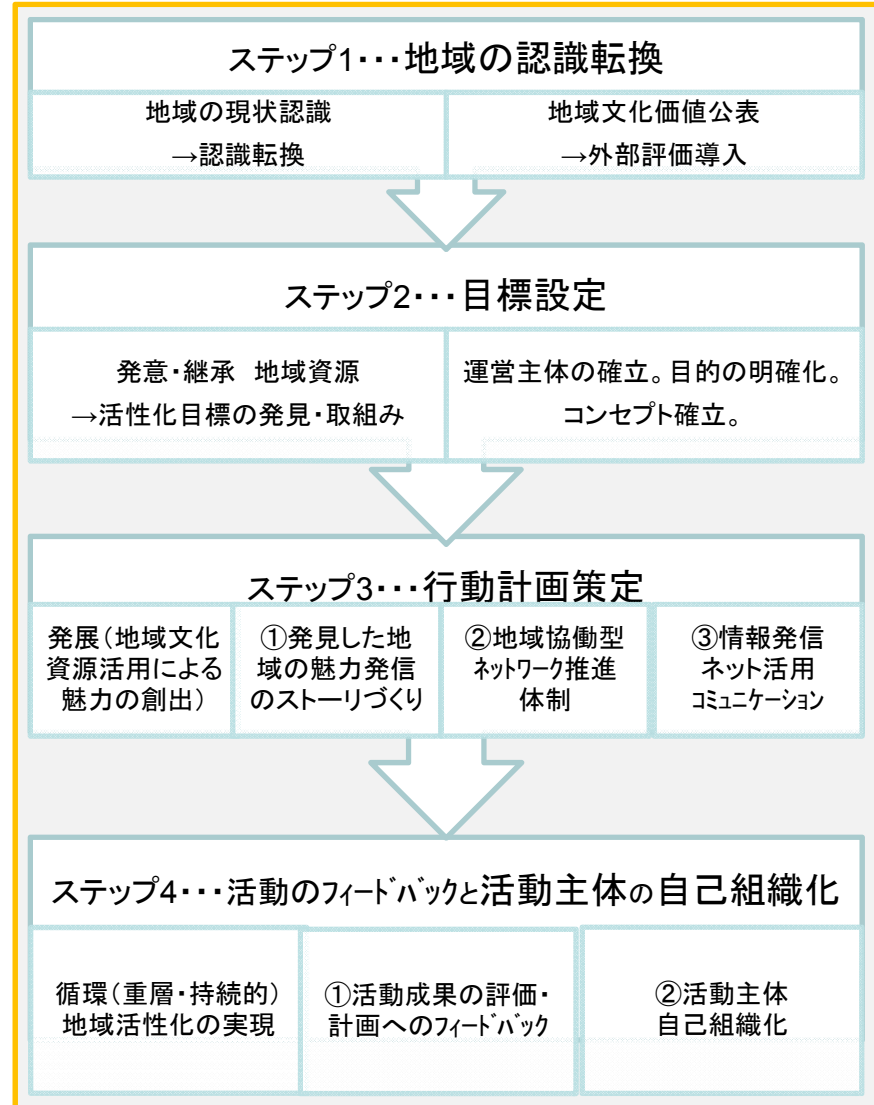
「雇用と所得」「出番と居場所」暮らしが豊かに
都道府県別農山漁村に起源をもつ地域資源(農林水産省)リンク

④人口

⑤産業構造

藻谷浩介氏評の「西三河像」リンク

⑥インフラ



新たな価値を創造する機能とは

①多様な
分野・主体の
知識を
国内外から
集め

②それら
を**融合**
させるこ
とにより

③価値創造
システムの
イノベーショ
ンを引き起こ
していく
仕組み

社会経済システムイノベーション
の源泉

「環境未
来都市」
が、

次世代の
知識経済
社会への
道を
切り開き、

我が国全体を持続可
能な経済社会に導く
原動力となっていくこと

新たな価値創造

持続可能な経済社会実現

①環境 ②社会 ③経済

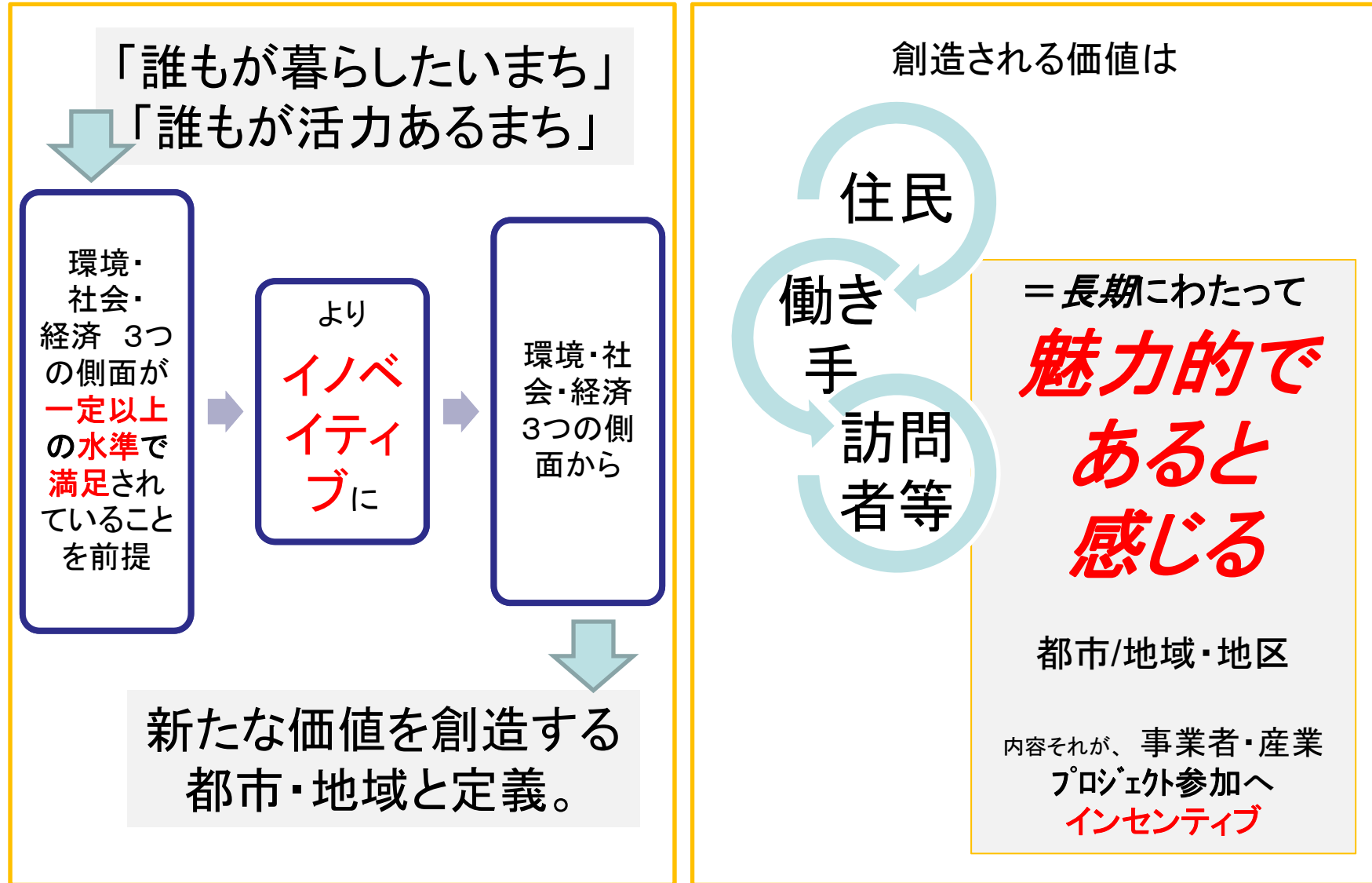
3つの側面

(トリプルボトムライン)

3つのうちどれか1つでも欠ければ、
持続可能な経済社会には成り得ない。

4-3 基本コンセプト③

西三河地域の将来ビジョン



4-4 基本コンセプト④

西三河地域の将来ビジョン

本構想は、
単に都市を作ること
を目指す
ものではなく、

「住まう人」
「集う人」
に着目

自律的发展

持続可能な
社会経済
システム
のための

価値創造
システム
構築

①生活の質
向上

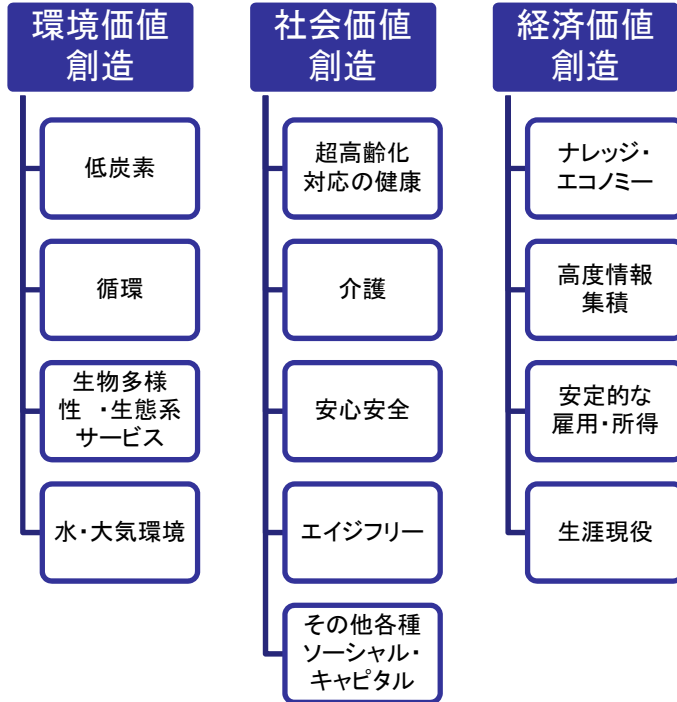
②住む人の
意識が
活性化

「未来の
都市像」

を示すことを目指す

4-5 3つの価値創造の具体的なイメージ

西三河地域の将来の在るべき姿（将来ビジョン）



産業から生み出される一次的な価値である
経済価値に加え、これまで必ずしも
十分に評価されていなかった
環境価値や社会的価値も含め、
3つの価値を総合的
に捉えて取組を進める点
本構想の大きな特徴。

例えば、低炭素という側面（要素）で
環境価値を創造するとは、

①再生可能エネルギー
(バイオマス・小水力・
太陽光等)利用

②民生部門等
省エネ対策

③集約型都市構造
に向けた取組

④交通分野の対策
等をオープンソース・
イノベーションで実施

低炭素型の
製品・
サービスの
需要と
供給
を高め

当該都市・
地域における
産業構造
やビジネス
スタイル・ライフ
スタイル
等根本的
に変革

いち早く
低炭素
社会
へ
転換を
実現

4-6 3つの価値の総合的な創造

西三河地域の将来の在るべき姿（将来ビジョン）

環境価値、社会的価値、経済的価値という3つの価値を総合的に創造

① 教育

② 医療介護

③ エネルギー

④ 情報通信技術

⑤ モビリティ

⑥ 住宅建築物等

「生活の基盤」の観点が重要

「環境未来都市」構想における生活の基盤において、例えば次のような取組の内容を要素に分解（因数分解）

相互の組み合わせによって効果的にインテグレート

イノベーションを引き起こすような実践につなげることが重要

加えて、強力な国際連携の下に取組を推進することも重要

生活基盤向上を実現するイノベーション

民間投資を誘発する仕組み

強力な国際連携の下に推進

生活基盤の向上を実現する 構成要素の因数分解とインテグレーション

<環境>

- ①再生可能エネルギーや高効率機器・設備の導入、断熱性能の向上による住宅・建築物のゼロエミッション化
- ②電気自動車等の次世代自動車の大量導入
- ③再生可能エネルギー・未利用エネルギーの面的導入
- ④情報通信技術を活用したエネルギーマネジメント（スマートグリッド、BEMS、HEMS等）
- ⑤集約型都市構造への転換と公共交通の整備 等

<超高齢化対応>

- ⑥バリアフリー性能や断熱性能の高い住宅の普及
- ⑦情報通信技術の活用による在宅での生活支援
- ⑧高齢者用パーソナルモビリティ、医療・介護ロボット等の研究 開発・実用化
- ⑨海外からの来訪者を対象とした健診、治療等の新たなサービス導入 等

<国際化その他>

- ⑩国際的な連携の下で、ベンチャー創出や、産学官連携など大学・研究機関における研究成果を地域の活性化につなげる取組
- ⑪魅力ある観光地づくり、留学環境の整備等による訪日外国人需要の掘り起こし
- ⑫規制・制度改革 等

4-7 西三河地域の将来ビジョンの具体化の仕組み

基本コンセプトを踏まえ、

- ① **多様性**
- ② **独自性**を重視する姿勢が重要。それぞれの固有の条件を十分に活かし

環境価値、社会的価値、経済的価値という3つの価値の
トータル
の
**創造量
最大化**

戦略的

かつ

具体的

に**将来
ビジョン**を

策定

することが

必要

3つの価値のトータルの創造量
最大化戦略とは

要素①
低炭素

要素②
健康

要素③
国際化

要素④
知識社会

これらをインテグレート(統合)する
国際的なネットワークをハブとした

環境・健康ベンチャー集積都市

たとえば 東北モデルは「みちのく路」に住む人が考える

三陸沿岸の漁業創生をイメージ

環境・健康・グルメクラスター都市

低炭素・地旅・集積地域

環境・交流・グルメクラスター地域

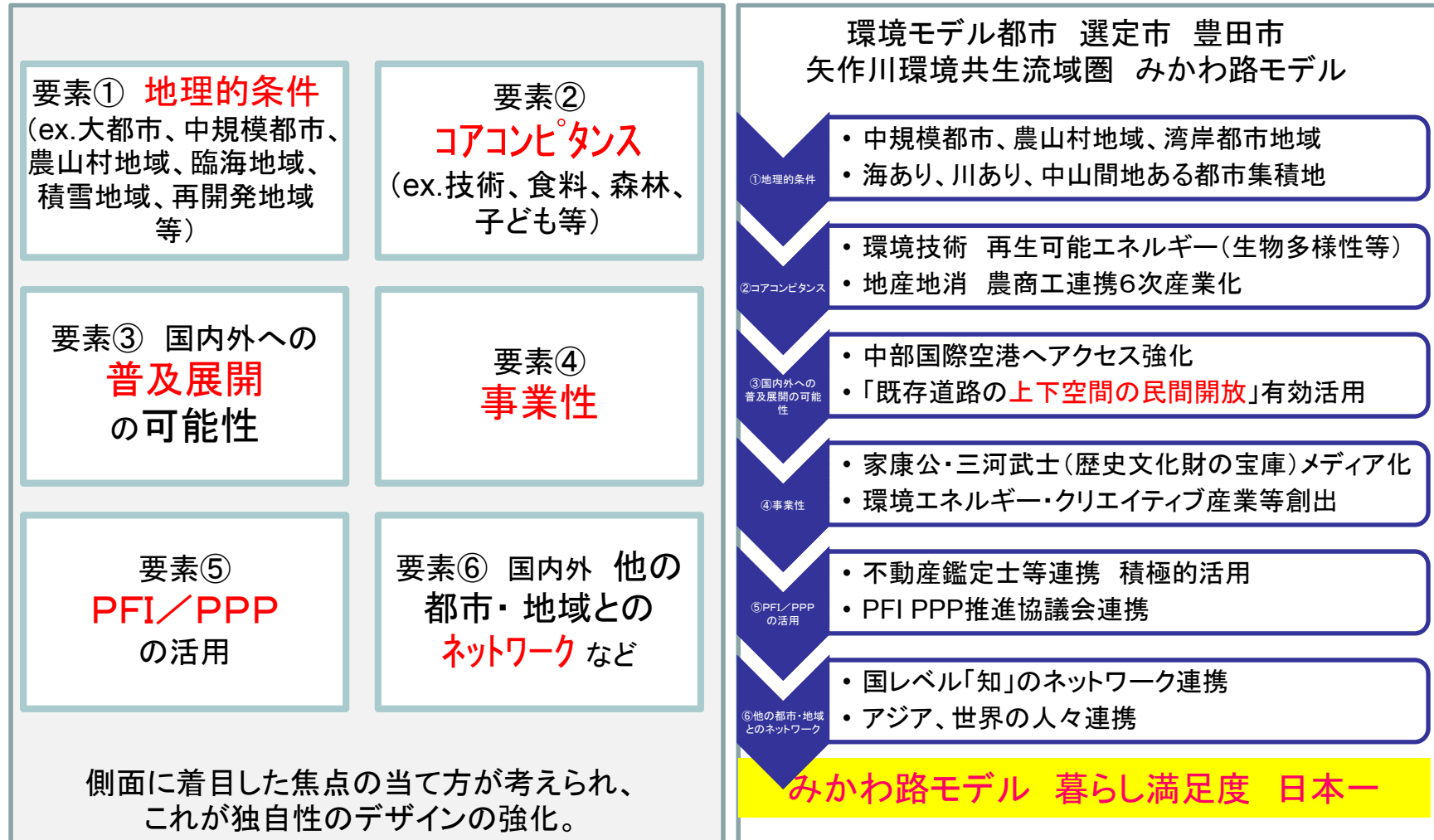
環境・超高齢化ベンチャー集積都市圏域

等が考えられる。

4-8 独自性のデザインの強化。

将来の在るべき姿 西三河地域の将来ビジョン みかわ路モデル 素案

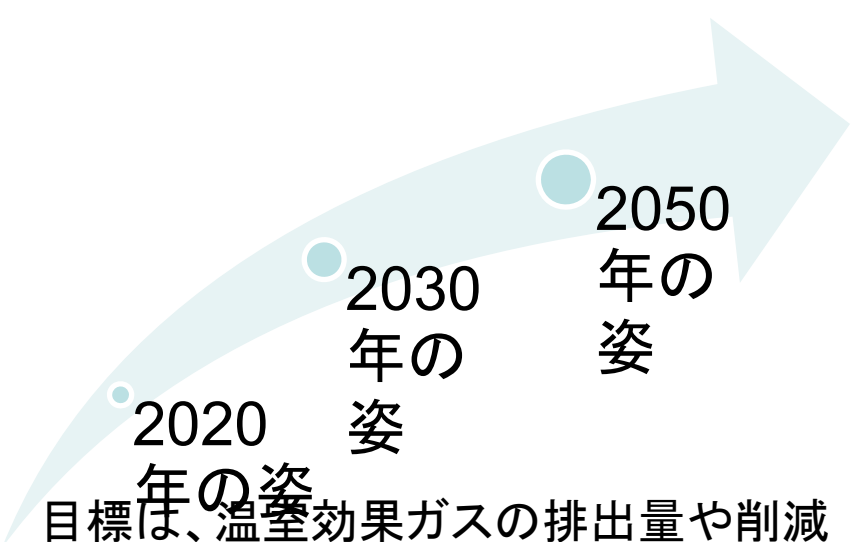
当該都市・地域が比較優位を有する様々な構成要素に対する焦点の当て方により、価値創造の仕組みに差異が生じることとなるが、これは独自性という意味で歓迎される



4-9 具体的な目標の設定と達成状況の評価等 西三河地域の将来の在るべき姿（将来ビジョン）

個別都市における将来ビジョンは、
当該都市・地域における
2050年姿を念頭に置きつつ…

目標の達成状況进行评估するためには、
3つの価値創造を視点に入れた
総合的な評価手法が必要



2020年
の姿
2030年
の姿
2050年
の姿

目標は、温室効果ガスの排出量や削減量といった各分野・要素の観点のみならず、様々な取組を通じて創出される
価値創造の視点を含めた
総合的な枠組みを備えたものとする必要

現時点においては
統一的な
評価手法
が確立さ
れていな
いことから、
**既存の
評価手法
活用しな
がら新たな
総合的
評価手法
を確立**

確立した
評価手法
は、将来に
おいて
「環境未来
都市」にお
ける取組
状況の
評価等に
活用

さらに、こ
の新たな
評価手法
を、**国際的
連携**を
強化する
ための
材料として
活用してい
くことによ
り、「環境
未来都市」
構想全体
の成果を
確立

4-10 価値の創造量を決定付ける要因について

西三河地域の将来の在るべき姿（将来ビジョン）

3つの価値の創造量を最大化するために求められる要因は、
都市・地域の特性に適合した戦略的かつ具体的な将来ビジョンだけではない。

将来ビジョン 実行体制

- | | | |
|--|---|--|
| ①都市・地域を形作り
具体的
事業規模や
質
物理的
側面 | ②大学や
研究機関等
により生み出
される
ナレッジの量や質
ナレッジ的
側面 | ③国や地
方公共団
体による
各種 政策
ガバナンス
側面 |
|--|---|--|

3つの側面が有機的に連携。好循環
を生み出し**価値の創造量**
大きな影響を与える

本構想が十分な 成果をあげるため

- | | | |
|-------------------------------------|---|--|
| ①地域
住民の
自主的
参加
仕組
強化 | ②知と
創造の場
づくりに
ガバナンス
強化・
改革 | ③効果的
な政策が
一定期間
継続実施
が担保さ
れる必要 |
|-------------------------------------|---|--|

ガバナンス側面極めて
重要な要因

アクションプラン21 該当事業

デジタル新時代新社会資本整備

- 4 セントレア(中部国際空港)へアクセス強化
2310 官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進国交省
- 4 三河湾 国際物流港湾機能の強化 (岡崎IC 静動脈物流基地)
2301 国際コンテナ戦略港湾のハブ機能の強化
(港湾非公共・その他施設費) 国交省a1
- 4 MICE岡崎市産業文化国際交流施設整備
2310 官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進国交省
- 7 (仮称)三ヶ根「国際総合特区構想」
国への特区申請。
- 4 三河安城 新幹線へアクセス強化
2310 官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進国交省
- 5 三河環状線構想
2327 地域公共交通確保維持改善事業
～生活交通サバイバル戦略～ 国交省b
2310 官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進国交省
- 1 新しい公共 SC 市民メディア スマートコミュニティ
1103 新しい公共支援事業内閣府
2314 「新しい公共」分野における投資ファンド造成支援事業国交省

デジタル新時代地域の暮らしQOL 新産業創出。既存産業創生。

- 1 環境未来都市先導的モデル
「生活者の安心安全な豊かな暮らし確保」
2404 チャレンジ25地域づくり事業～「環境未来都市」を見据えた低炭素
社会基盤の集中整備～環境省a1
2317 高齢者等居住安定化推進事業国交省a1
2225 次世代エネルギー・社会システム実証事業
～グリーンイノベーション～ 経産省
2008 貧困・困窮者の「絆」再生事業厚労省
2004 24時間地域巡回型訪問サービス・家族介護者支援
(レスパイトケア)等推進事業厚労省
1910 文化芸術による元気な日本復活プラン文科省
1520 フューチャースクール推進事業(拡充分) 総務省a1
1514 デジタルコンテンツ力創造事業総務省
1502 「光の道」整備推進事業総務省a1
1501 「緑の分権改革」推進プロジェクト総務省
1110 パーソナル・サポート・サービスに関する事業内閣府
- 2 新産業の創出と国際展開
地域 中小企業の戦略的地域情報通信活用
2220 クール・ジャパン戦略推進事業経産省a1
1113 実践キャリア・アップ戦略の推進内閣府
- 6 地域経済の起爆剤観光交流客誘致
2306 訪日旅行促進事業
(中国市場向け訪日旅行促進緊急プロジェクト) 国交省a1
- 3 農林水産業・農山漁村6次産業化
2347 森林・林業再生プラン推進総合対策国交省a1
2103 森林・林業再生プラン推進総合対策農水省

セントレア(中部国際空港)へアクセス強化

P21-10・11●重点課題 6

「東アジア共同体構想」の具体化に向けた取り組み中で、名古屋市を經由しない

西三河南北間アクセスを短期間に

整備するために**既存道路の上下空間の民間開放制度**。活用し**再整備**

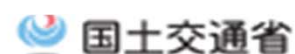
民間の知恵と資金、
国の施策の「選択と集中」
の観点を最大限活かす
道路・河川空間のオープン化
(国家戦略プロジェクト21)
民間による公サービス
(内部化の技術活用)
一般道でもETCを使うと「民営化
投資回収するというモデル」
(国領二郎教授)

観光立国に不可欠な要素
**交通アクセスの改善と
安全・安心なまちづくり**
人・モノの移動のグリーン化
アジアにおける
「ヒト・モノ・カネの流れ倍増」に
大きく貢献し、貿易促進、
外資系企業による
日本への立地促進、
人材の集積を図る。

地域の自立
PFI制度(民間資金活用)
CSR企業の社会貢献
市民による社会貢献ファンド
アクセス整備による
国際競争力等の向上、
地域資源を最大限活用した
地域力の向上

PFI PPP

官民連携による民間資金を最大限活用した成長戦略の推進



社会資本の整備・管理を効率的・効果的に行うとともに、経済成長や雇用創出等に資するため、民間資金を活用したコンセッション方式等による新たなPPP/PFI事業の導入を目指し、事業案件の発掘、事業スキームの検討(制度設計)、実施可能性等に関する調査を行うとともに、先進的な取組に係る実証等を支援する。

国土交通省成長戦略

➤ PPP/PFIを推進するための制度面の改善

コンセッション方式(*)を新たに導入することや官民人材交流の円滑化を含めて、PPP/PFIに係る共通制度の改善を図るとともに、公物管理制度についても個別プロジェクトに対応した見直しを行い、特例を設ける。

*コンセッション：施設の所有権を移転せず、民間事業者がインフラの事業運営や開発に関する権利を長期間にわたって付与する方式

➤ PPP/PFIの重点分野とプロジェクトの実施

空港、港湾、鉄道、道路、下水道を重点分野として、自治体・企業から事業提案を募集し、具体的なプロジェクトを形成、実施。行政財産の商業利用についても、経済の活性化を図る観点から積極的に支援する(インフラファンドの組成、案件形成のための支援策の創設等)。

「元気な日本復活特別枠」要望施策

- ・道路空間のオープン化に関する検討調査事業
- ・新しい公共によるまちづくり促進事業
- ・民間企業等から提案を受けた新たなPPP/PFI事業の検討調査事業、先導的なPPP事業への実施支援
- ・インフラファンド形成促進のための出資等

22年度：自治体・企業から上記新制度を前提とした提案を募集
新たなPPP/PFI制度(共通制度、公物管理制度、税制)の実現を推進
23年度～：案件形成の支援を行うとともに、更なる制度改正を検討

【PFI事業例】羽田空港国際線地区におけるターミナル等の整備・運営



【PFI事業例】県営上安住宅整備事業(公営住宅の建替え)

事業地内に社会福祉施設、商業施設等を整備



地域経済の起爆剤 観光交流客誘致

徳川家康公 生誕の地。サムライ日本！三河武士のふるさと。

P21-12 ●重点課題 5

基盤整備

- セントレア(中部国際空港)へのアクセス向上により、国内外からの 三河地域、静岡富士山地域、首都圏へ交通アクセスが更に充実

キャンペーン

- 有望市場である中国を中心に韓国、台湾、香港、シンガポール、タイなど東アジア諸国を 重点に「三河武士のふるさと」地域文化芸術等のビジット・ジャパン・キャンペーンを実施

地域連携

- 官民が一体となって、広域的な地域間連携を通じた
・「国際競争力の高い魅力ある観光地の形成」

地域活性

- 地域経済の起爆剤となり国際観光の振興を目指す。
・特に中国人旅行者数大幅増加の可能性(規制緩和)

①観光圏整備法における事業計画認定地域において

②国が行う支援制度を活用しつつ、広域的な地域間連携を図りながら

③2泊3日以上 の滞在型観光を促進するとともに、圏域の魅力 を相乗的に高め

④地域活性化及び国際観光振興を目指す。

観光圏整備による観光旅客の滞在の長期化

観光圏整備のイメージ



地域が連携して行う取組への国の主な支援メニュー

○予算(観光圏整備事業費補助)、財投
宿泊、観光資源、交通移動、案内・情報提供などのレベルアップを図る地域の取組を支援
⇒2泊3日以上快適に充実して過ごせる観光圏づくりに向けた地域の取組を活発化し、観光旅客の満足度を向上

○ハード面での連携
社会資本整備における、景観整備、案内標識整備等の事業による観光圏整備事業との連携・配慮
⇒ハード面を含めた観光圏全体の総合的な魅力向上

○農山漁村活性化法の特例
観光圏内の農山漁村における交流施設整備について、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の交付が可能
⇒農山漁村の体験・交流メニュー等楽しく過ごせる滞在メニューの充実

○旅行業法の特例
ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例
⇒宿による宿泊客への着地型旅行商品の販売を可能とし、宿泊客の滞在を拡大

観光旅客のニーズをふまえた取組への支援

効果

国際競争力の高い魅力ある観光地の形成

↓
内外観光客による2泊3日以上より長期の滞在を拡大

↓
地域経済の活性化

三河湾 国際物流 港湾機能の強化

P21-10・11 ●重点課題 6

空港・港湾等の社会基盤も、国際的に魅力あるものにするにより、
付加価値や雇用を生む拠点

産業構造ビジョン2010

仮称 三河湾港 構想 (三河湾連合協議会)

民間の知恵と
資金を活用し
た港湾経営の
実現

国際戦略港湾たるべ
き三河湾港 全体の
競争力強化

三河湾連合協議会規約
西尾市合併(幡豆郡三町)
碧南市・蒲郡市・幸田町

動脈物流新幹線構想

東名高速道路

既設衣浦港・
蒲郡港

三河(豊橋)港

機能強化連携

・静脈物流
拠点

(東名・岡崎IC)整備
第二東名岡崎額田IC

物流新幹線イメージ

取り組むべき成長戦略

- 新しい時代にあったインフラ整備
 - 自転車専用道
 - 物流新幹線



19

(仮称) 三ヶ根「国際総合特区構想」プロジェクト

P21-11 ● 重点課題 8

三ヶ根山周辺地区 (愛知県所有地: 幡豆町八幡地区)

「愛知こどもの国」有効活用

多様な視点から**環境と共生**
アジアや世界との大学・科学
技術・文化・スポーツ・青少年
等の交流・協力を促進 国際
的に活躍できる人材の育成
社会と協生を担う「先端的
国際協生」教育・交流拠点

国際連携の下ベンチャー
創出や産学連携研究
機関等の研究成果を
地域活性につなげる
取組み拠点

街を3Dで管理

参考

「韓国仁川 デジタルシティ構築」

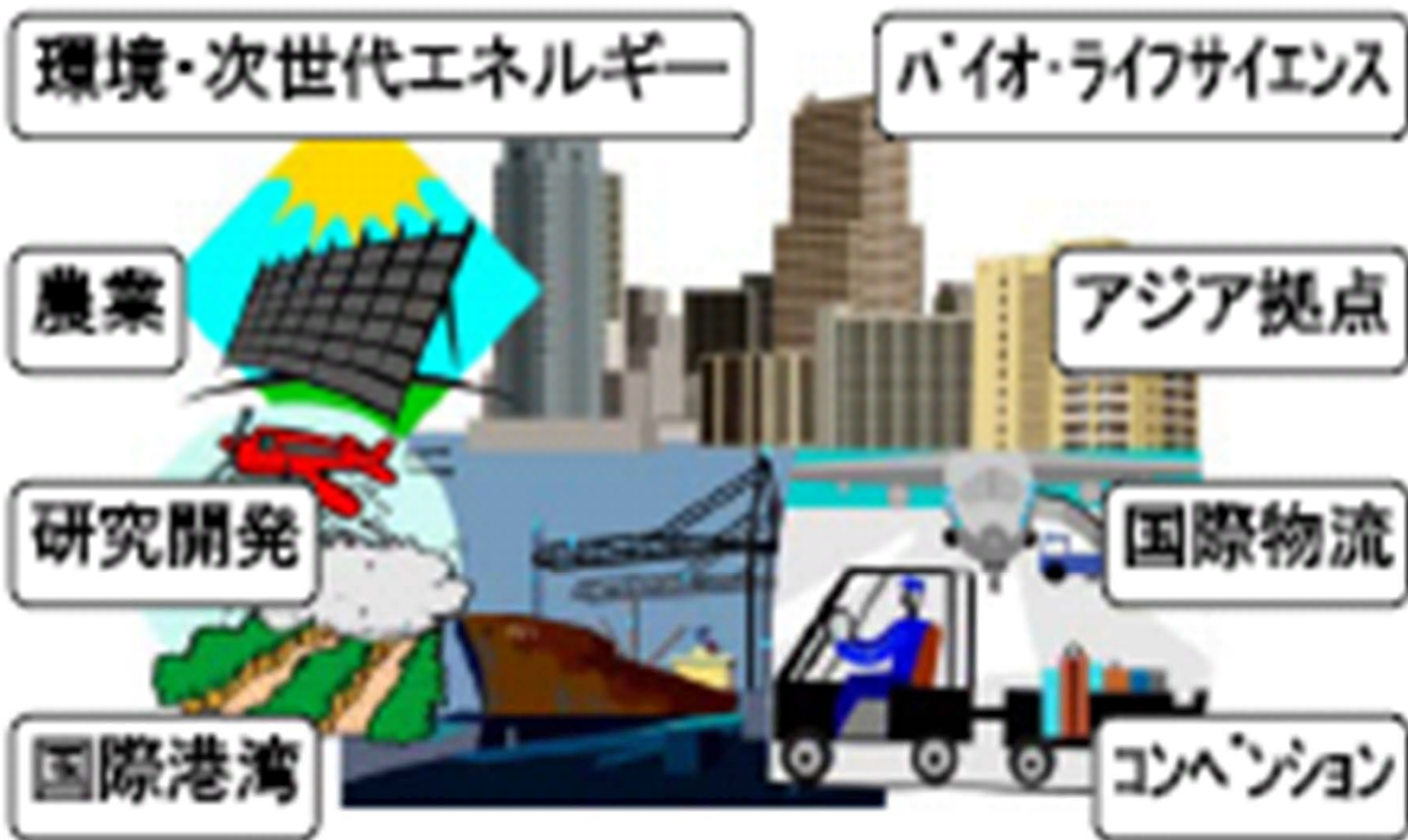
産学官連携: トヨタ自動車・関連企業と慶應義塾大学大学院
国や地元自治体後押し。

SDMシステムデザイン・マネジメント研究科 連携
自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター連携

現在了解はとってありません

①国際戦略総合特区

我が国の経済をけん引する
ことが期待される産業の国
際競争力の強化



(仮称) 三河環状線構想 地域活性化総合特区

P21-11 ●重点課題 6

生活者の足「新公共交通システム」による

三河環状線構想。モビリティマネジメント

公共交通施設整備(地域経営・運営委託)

名鉄(三河線「旧碧南-吉良吉田間含む」・西尾線・蒲郡線)

明知鉄道連携(DMV)システム

JR恵那駅-明智-旭-足助-西中金-廃線活用-猿投-豊田市

矢作川流域圏(恵那市が源流) / 社会的リターン

地域公共交通の維持・活性化が課題となっている地域において、**地域公共交通活性化・再生総合事業**等を活用しながら、市町村、公共交通事業者、地域住民等の地域の関係者が **協働**して**創意工夫**のある取組を推進することが必要である。

このため、交通施策に関する情報・ノウハウの提供や事後評価を通じた助言等により、各地域が効率的・効果的に公共交通活性化・再生に取り組むことができるように支援を行うとともに、地域の取組の内容や熟度に応じた

セミナーの開催、広く関係者が今後の公共交通のあり方について考えるための機会の創出など、

公共交通の活性化・再生に向けた機運の醸成を図る。

(新しい公共)提言

新しい公共

「新公共交通システム」東海 三河モデル 国への提案

広域的地域活性化のための基盤整備法

<産学官連携>

新公共交通・物流システム

DMVシステム

環境エコ ハイブリッド:ニューパワートレイン

LRT (次世代路面電車システム)

三河新公共交通システム環状線構想

トランジットモール導入街づくり

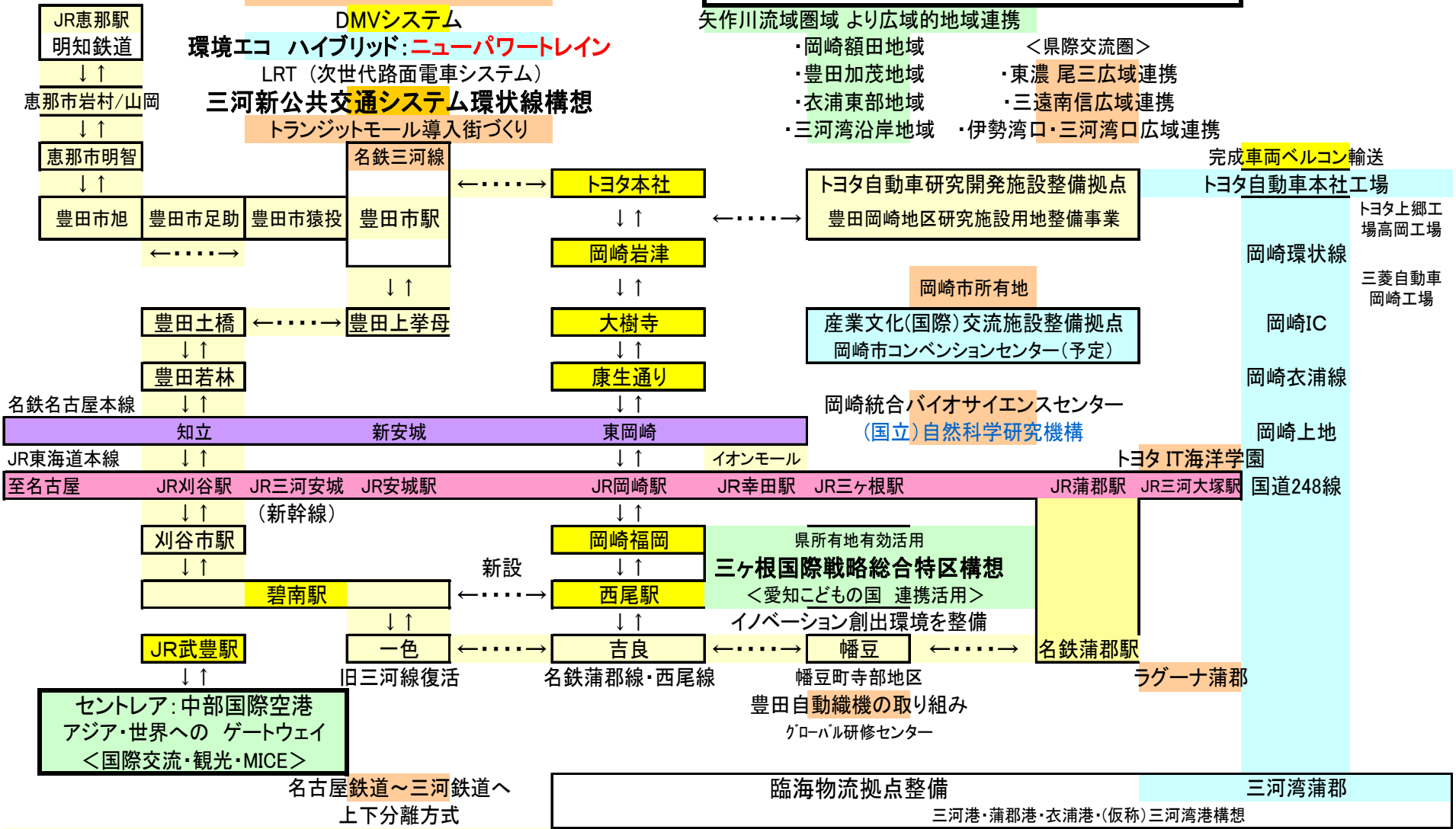
サムライ日本 徳川家康公 生誕の地。三河武士のふるさと

矢作川環境共生流域圏 連携

<戦略的システムデザイン・マネジメントによる地域創生戦略>

矢作川流域圏域 より広域的な地域連携

- ・岡崎額田地域 <県際交流圏>
- ・豊田加茂地域
- ・衣浦東部地域
- ・三河湾沿岸地域
- ・東濃 尾三広域連携
- ・三遠南信広域連携
- ・伊勢湾口・三河湾口広域連携



完成車両ベルコン輸送

トヨタ自動車本社工場

トヨタ上郷工場
高岡工場

岡崎環状線

三菱自動車
岡崎工場

岡崎市所有地

産業文化(国際)交流施設整備拠点
岡崎市コンベンションセンター(予定)

岡崎IC

岡崎衣浦線

岡崎統合バイオサイエンスセンター
(国立)自然科学研究機構

岡崎上地

トヨタ IT海洋学園

国道248線

県所有地有効活用

三ヶ根国際戦略総合特区構想

<愛知こどもの国 連携活用>

イノベーション創出環境を整備

幡豆

幡豆町寺部地区

豊田自動織機の取り組み

グローバル研修センター

臨海物流拠点整備

三河港・蒲郡港・衣浦港・(仮称)三河湾港構想

三河湾蒲郡

名古屋鉄道~三河鉄道へ
上下分離方式

セントレア:中部国際空港
アジア・世界へのゲートウェイ
<国際交流・観光・MICE>

②地域活性化総合特区

地域資源を最大限
活用した地域活性化の
取組による地域力の向上

防災・減災

環境・次世代エネルギー

観光・文化

教育・子育て

農業・六次産業

金融・ソーシャルビジネス

バイオマス

医療・介護・健康

物流・交通



生活者の安心安全な豊かな暮らし確保

矢作川流域圏交流連携 P21-2 ●重点課題1・2

西三河独自性のデザイン

地域主権 情報通信技術を利用し 実現

ホワイトスペース
等を活用し
たソーシャル
Myメディア
の全国展開

地域の
文化・観光・
物産情報等
のふるさと
コンテンツ
製作・発信

情報通信
技術を活用
した
農山漁村
地域の
活性化、

災害時等の
迅速かつ的
確な対応に
必要な全国
の防災機関
間の情報共
有及び住民
への情報伝
達等を推進。

2015年頃を目途に
すべての世帯で
ブロードバンドの利用を
実現する。

「光の道」を完成させる
ことにより、
付加価値や雇用を生む
拠点として、
暮らしに密着した
医療・教育・行政等の
飛躍的な向上や
地域の活性化を実現。

生活者の安心安全な健康増進。 エリアマネジメントシステム

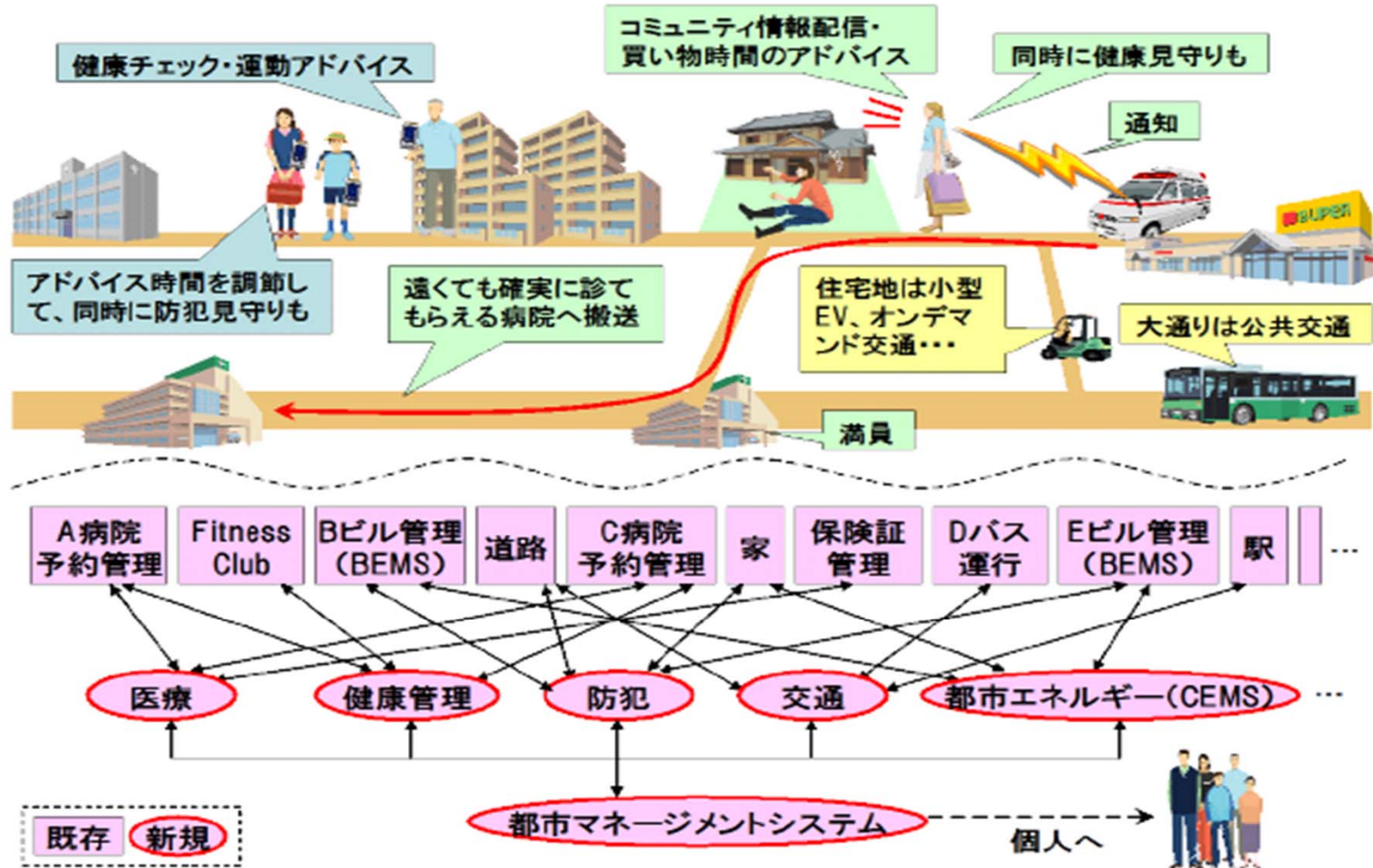


図 2-7 安全、安心、健康増進インフラによるサービスの実証イメージ

環境に配慮した再生可能エネルギー

P 21-1 ●重点課題1・2・7・10

ホワイトスペース「光の道」商用・コミュニティに利活用

ソーシャルMyメディア ネットワーク(OSS)

スマートグリッド導入による電力システムの高度化。エネルギーの**地産地消**

スマートコミュニティ新しい社会インフラ 実証地：豊田市が選定 (H22年度経産省)

マイカーから公共交通機関への利用転換を図るため企業、自治体、交通事業者と連携し

モビリティマネジメントによる「エコ通勤」の取り組みを推進

京都議定書に基づく我が国のCO2排出量削減目標の達成に向けて、いわゆる**奥三河に賦存する**

再生可能エネルギー(太陽光のほか風力・中小水力等)

木質バイオマスの熱利用、空気熱利用、地中熱等の普及を推進

再生可能エネルギー面的利用イメージ

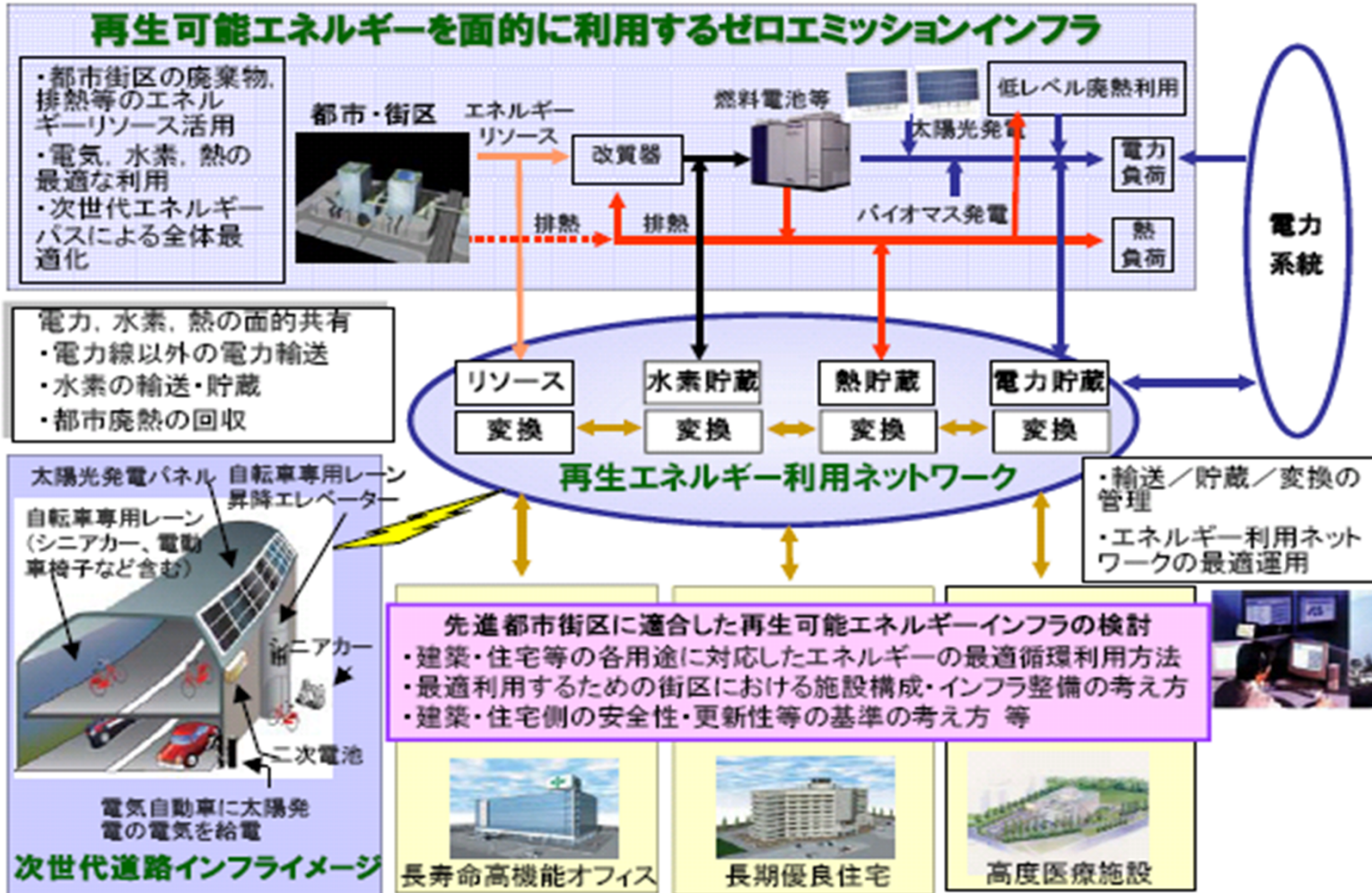


図 2-1 再生可能エネルギーを面的に利用するゼロエミッションインフラのイメージ

新産業の創出と国際展開

P21-9 ●重点課題 2・7

「クールジャパン」創出。
ファッション、コンテンツ、食、デザイン、
観光、音楽等活用

クリエイティブ産業育成。
ソーシャルメディア活用
デジタルコンテンツ市場拡大。

海外スマートシティ向け
インフラ輸出「環境未来都市」
環境エネルギー産業創出。

2013年までに、新世代・光ネットワーク、次世代ワイヤレス、
クラウドコンピューティング、
次世代コンピュータ、
スマートグリッド、ロボット、次世代半導体・ディスプレイ等の革新的デバイス、組み込みシステム、
三次元映像、音声翻訳、ソフトウェアエンジニアリング等
の戦略分野における産学官連携での集中的な研究開発を進め、我が国の情報通信技術企業が主要海外市場における知的財産権及び国際標準の戦略的な獲得、国際展開を可能とする。

内閣官房 国家戦略室(新成長戦略)

「クール・ジャパン」とは何か

・クール・ジャパンとは何か。それは「世界が共感する日本」「世界がほしがる日本」である。
・そうした日本の良さ、日本のDNAを日本人自身が再発見し、「世界の手が届くところ」に届け、「世界を呼びよせる」のがクール・ジャパン戦略である。

クール・ジャパンの源泉

受け継がれてきた文化力

- ・自然風土の中で洗練された美意識
- ・伝統の保持と外来文化の受容・革新
- ・成熟した消費生活・精神文化
- ・海外で人気の現代文化・食文化

地域や中小企業の底力

- ・中小ものづくり企業の匠の技
- ・地域で活躍する人材力、現場力
- ・伝統と技術を守る伝統工芸

安全、清潔、丁寧、おもてなしの心

- ・どこでも得られる最高のもてなし
- ・安全で清潔な生活環境
- ・丁寧な仕事とコミュニケーション

→商品はいつか真似されるが、これらは容易に真似出来ないことである。

日本人にとって当たり前のことも多いが、外国人に高く評価され、メディアで取り上げられてきた。

クール・ジャパン戦略

日本の良さを再発見と 良さを伸ばす取組の強化

- ・日本人自身が日本の良さを再発見するとともに、それを更に発展させていく取組を強化する

世界に届ける仕組みづくり

- ・業種横断的に日本の魅力を発信し、販売チャンネルとあわせて海外に売り込むための企業群を支援する

日本への来訪促進

- ・日本にあこがれて来訪する観光客やビジネスマンを増やし、日本からあらたな文化を編集し創造する

→日本をより面白くし、世界がほしがる日本を世界に届けることで、

海外ビジネス展開やインバウンドの観光振興につなげ、若者や地域の雇用創出につなげる。

地域 中小企業の
戦略的地域情報通信基盤活用 P21-16 ●重点課題 4

地域の中小企業の戦略的地域情報通信活用
による効率化 新技術クラウドコンピューティング導入

地域中小業
と情報通信
技術関連
企業等との
連携強化

生産者の
消費者へ
直販サービス
の仕組み
活用

農商工等携
新たな業態
SCMシステム 開
発・活用

メディアコンテンツ
及び広告サー
ビス相互連携
の下、創意
と工夫でソー
シャルベンチャー
創出

低炭素社会地域インフラのイメージ

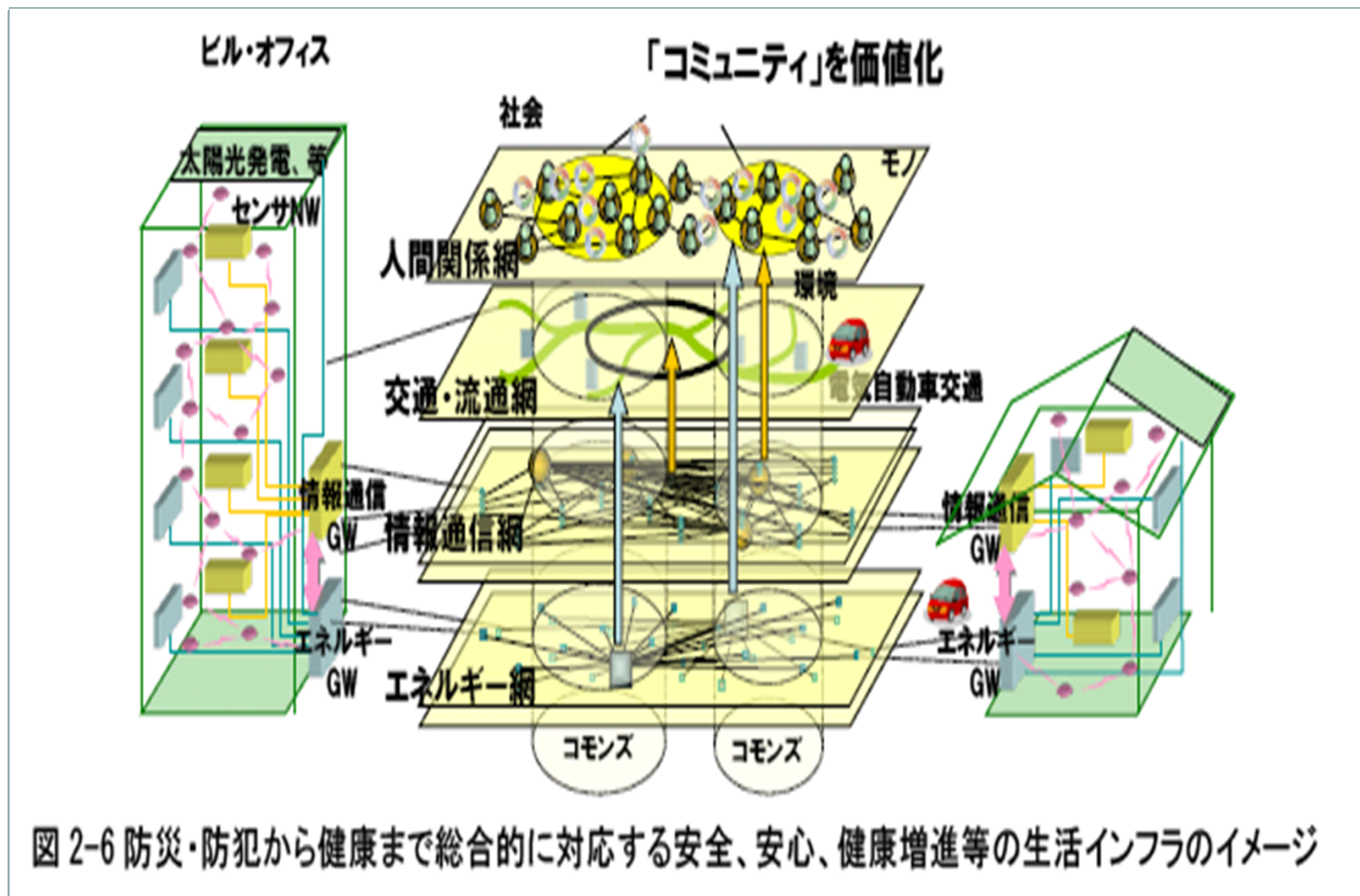


図 2-6 防災・防犯から健康まで総合的に対応する安全、安心、健康増進等の生活インフラのイメージ

農林水産業・農山漁村活性化

森林・林業再生プラン

P21-3 ●重点課題 10

6次産業化動画像。

「地産地消」

デジタルショッピングシステム。

情報通信技術を用いた
農林水産物の国内外
の販路拡大

情報通信技術を用いた

農林水産業・農山漁村
6次産業化

(生産・加工・流通の
一体化等)を推進

農地情報(地図情報)
や新規参入者等が
篤農家のノウハウを活
用するための
システムの開発・整備等
を推進

「森林施業プランナー」、「技能者」の資格制度及びこれらの人材育成のための仕組みを整備する。
さらに、無秩序な伐採を防止し、持続的な森林経営を確保する観点から、伐採面積の上限の設定や伐採後の確実な更新
を確保する仕組みの導入等、伐採・更新ルールを抜本的に見直す。
あわせて、林野関係予算を「選択と集中」の観点から抜本的に見直し、努力する者が報われるものとし、
新たに「**森林管理・環境保全直接支払制度**(仮称)」を導入する。

一次産業の6次産業化



全体の最適化

つながり力が人と地域を劇的に変える。●重点課題 9

マルチステークホルダー全体最適化
都市経営のためのガバナンス強化

人と人の絆。人と地域の絆。

西三河(基礎自治体)都市間連携。

「矢作川環境共生流域圏」連携。

東濃(岐阜県恵那市ほか)尾三県際交流圏連携。

三遠南信(長野県平谷村ほか)県際交流圏連携。

首都圏。関西圏。名古屋圏連携。

アジア連携。グローバル連携。

イノベーションを阻むもの

部分的最適化は全体的最適化につながるという神話
部分的最適化はしばしば全体的最適化を裏切る。(飯箸氏)

地域全体の最適化

ステークホルダー
全体最適化

道州ブロック圏域

広域連携

環境共生流域圏

広域連携

定住自立都市圏域

より広域連携

基礎自治体(市区町村)

住民連携

学校区住民連携

近隣住民互助・共助

スマートコミュニティ



東日本大震災復興構想会議「復興への提言」

地域交流・地域福祉・高齢者等共生住宅モール整備

●重点課題 9

公的介護施設・高齢者等共同住宅複合施設整備事業
地元商店街に併設

地域交流ユニバーサル健康福祉モール

- 1 地域における公的介護施設等の計画的整備促進法(平成17年改正)
- 2 民間資金等による公共施設整備促進法 (PFI法)
- 3 資産流動化に関する法律 (SPC法)
- 4 地域再生法(平成17年4月施行)
- 5 都市再生特措法
- 6 改正:介護保険法及び関連法

国土交通省:地域優良賃貸住宅

高齢者等共同住宅

別宅介護:
「もう一つの我が家」

介護保険
指定居宅介護支援事業所

文部科学省:生涯学習

経済産業省:中心市街地/コア施設

地域交流ユニバーサル健康福祉モール

地元商店街 健康維持施設

地域交流・コミュニティ広場・診療所(調剤薬局)

展望風呂・サロン

ファミレス・アミューズ・文化活動・生涯学習・アクティビティ
・インキュベーション施設 ・テナント ・フィットネスクラブ施設

厚生労働省:公的介護施設

地域密着・多機能型 公的介護施設

地元自治体:地域包括支援センター

地域ユニバーサル健康福祉公社

運営:地域ケアネット

デイサービス

ショートステイ

訪問介護支援サービス

保険外・生活支援サービス

基幹型在宅介護支援センター

地域型在宅介護支援センター

市区町村策定:「地域福祉計画」「介護保険事業計画」準拠施設

地域交流・地域福祉・高齢者等住宅イメージ

施策の内容

高齢者単身・夫婦世帯の急増に対応し、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整備するため、国土交通省・厚生労働省が連携して行う高齢者住まい法改正により位置づけられる「サービス付き高齢者住宅」の建設・改修費に対して、国が民間事業者・医療法人・社会福祉法人・NPO等に直接補助を行う。

24時間対応の
訪問看護・介護



サービス付き高齢者住宅



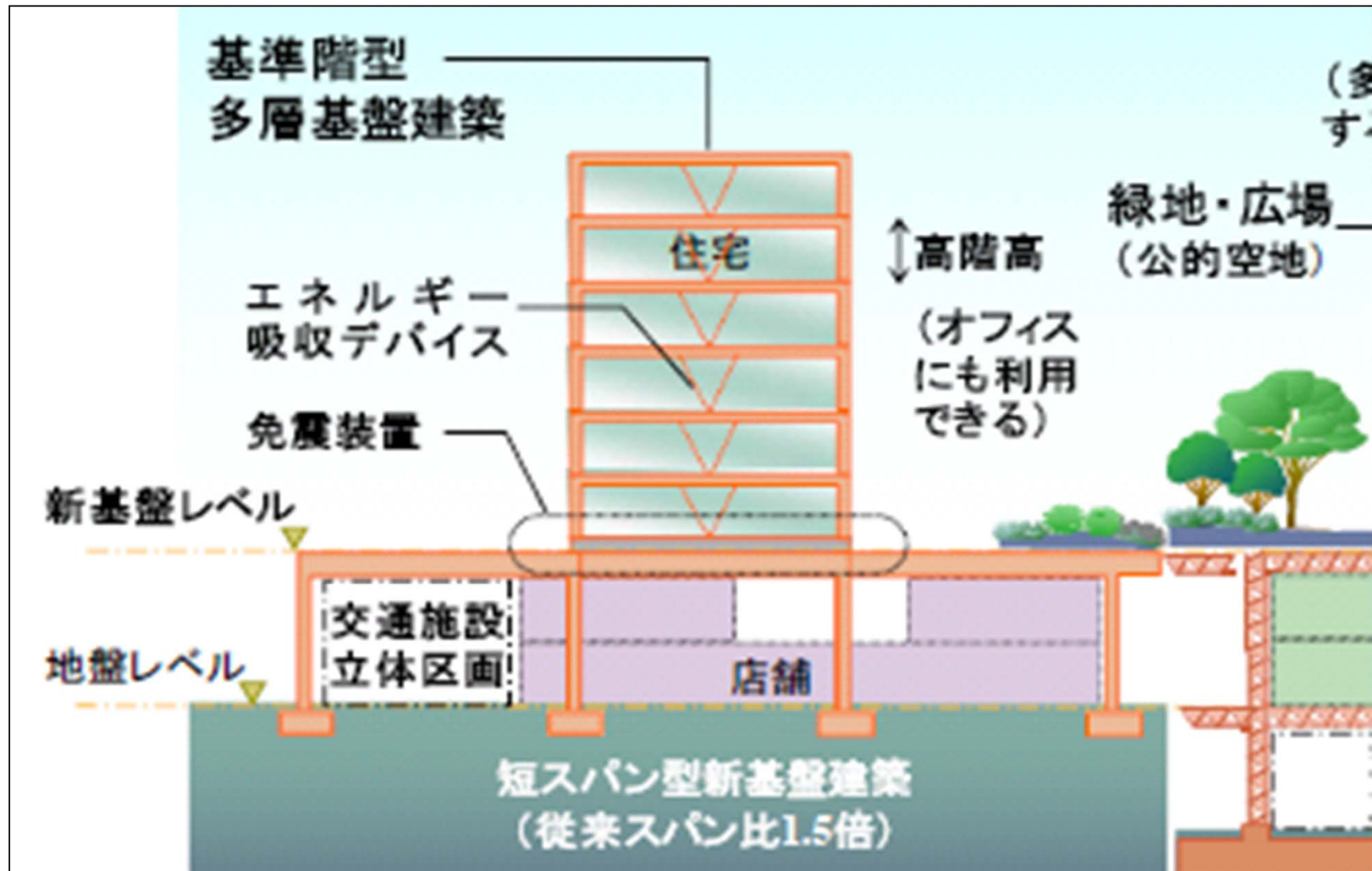
多世代の
交流を支援

診療所、訪問看護ステーション、
ヘルパーステーション、デイサービスセンター等

住み慣れた環境で必要なサービスを受けながら暮らし続ける



次世代型建築物
地域交流・地域福祉・高齢者等共生住宅モデル



私のまちの暮らし機能 暮らし満足度チェック

生活機能
(社会的価値)

産業機能
(経済的価値)

文化機能
(社会的価値)

結びつき機能
(社会的価値)

環境機能
(環境価値)

都市機能
(総合的価値)

私の暮らす都市^やまち。

域内外住民 ランキング

●生活機能(社会的価値)

医療/福祉/教育
土地利用/農業・森林・住まい
産業振興/雇用の場

●産業機能(経済的価値)

商業都市機能/工業都市機能 / 農林水産機能

●文化機能(社会的価値)

農産物・海産物 食文化
歴史・学術・芸術文化 伝統芸能・まつり文化

●結びつき(ネットワーク)機能(社会的価値)

地域公共交通
「新しい公共」ネットインフラ
道路等交通インフラ(IC等)
地産地消ネットインフラ
大都市圏生活者との地域間交流
SC地域コミュニティ活動・NPO
防災、防犯地域情報共有システム

●環境機能(環境価値)

森林環境・自然景観・公園緑地
きれいな海・きれいな川・きれいな空気

●都市機能(コミュニティ機能)(総合的価値)

<生産支援機能・生活支援機能・共通基盤>
中核的医療機能
大規模商業ショッピングモール・娯楽機能
図書館・体育館・交流会館 公共施設サービス機能

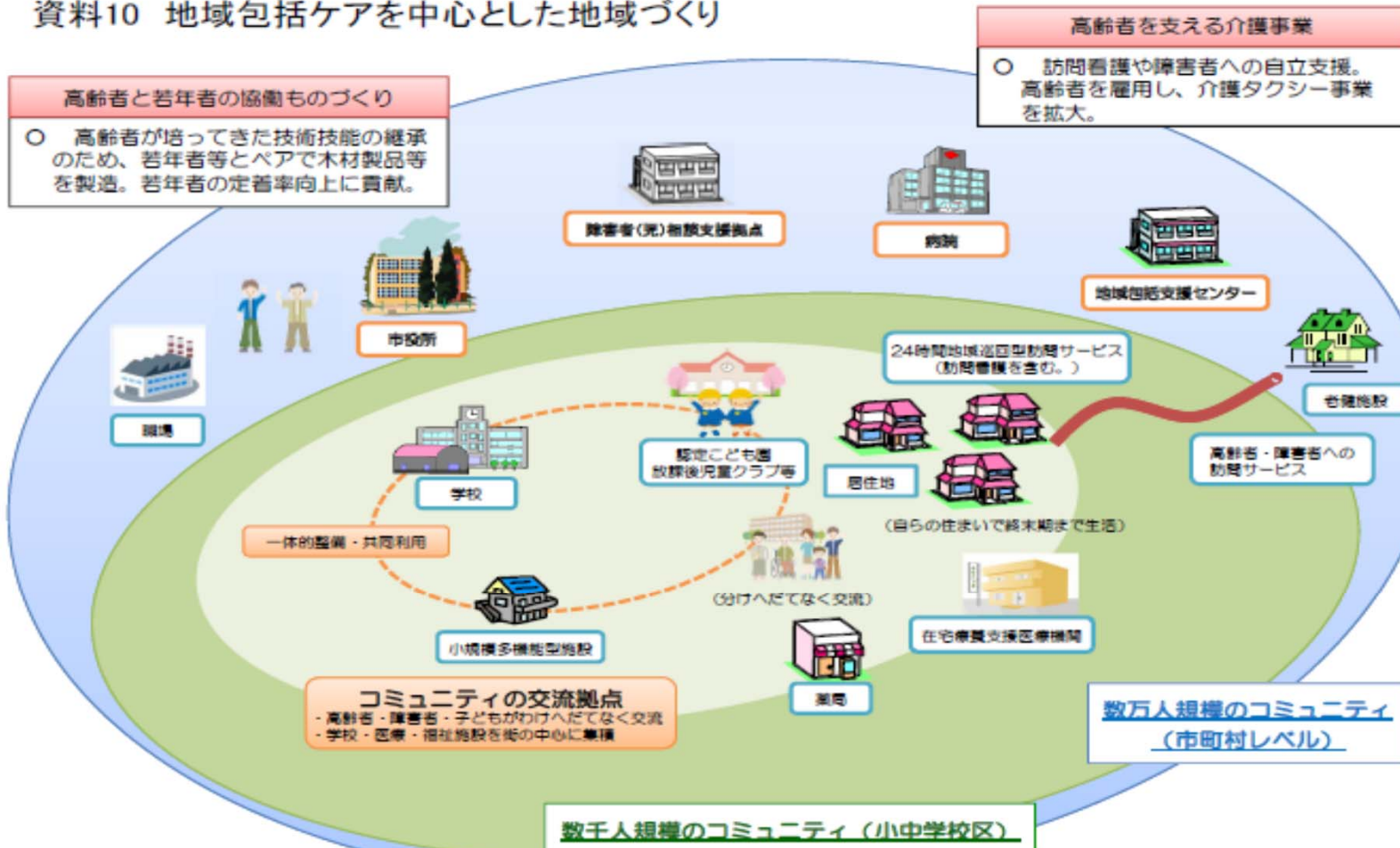
東海・岡崎市

地域の自立。協働 連携で活性化・・・岡崎の この町に行きたい・住みたい ランキング

北部 トヨタ本社近接	東部 豊川・蒲郡近接	康生・中央部	名鉄東岡崎・中央ターミナル	JR岡崎周辺 南部	南部 西尾・幸田近接	西部 豊田・安城近接
大樹寺・岩津・大門・細川・奥殿・恵田	男川・美合・生平・秦梨・竜谷・藤川・山中・本宿・豊富・宮崎・形埜・下山	梅園・根石・井田・愛宕・連尺・広幡・教育大附・常盤・常盤東・常盤南	三島・六名・竜美ヶ丘・岡崎・羽根	・城南・小豆坂・緑丘・上地	六ッ美中部・六ッ美西部・六ッ美北部・六ッ美南部・福岡	矢作東・矢作南・矢作西・矢作北・北野
岩津中・北中・新香山中	美川中・河合中・東海中・額田中	甲山中・葵中・城北中・常盤中	竜海中・南中・付属中	南中・竜南中	六ッ美中・六ッ美北中・福岡中	矢作中・矢作北中
53,000	53,000	68,000	48,000	57,000	48,000	57,000
ヤマナカ			イオンモール/ジャスコ		ドミー	
	基幹:岡崎市民病院	康生	東岡崎			
			岡崎中央郵便局 岡崎信金本店			
		100	100			
愛環:大門・北岡崎 3	名鉄:美合・本宿・藤川 4	岡崎公園・中岡崎 7	東岡崎・岡崎・六名 9	JR岡崎 8	JR岡崎 3	西岡崎・矢作橋・宇頭 5
		市役所・市民会館 りふら・元気館	竜美ヶ丘会館 シビックセンター	勤労福祉会館		
	東名高速道 岡崎IC 中央総合公園	東公園 岡崎保健所		南公園		
混在地域	旧集落地域 環境・自然景観ゾーン	中心市街地 高次都市市街地ゾーン	中心市街・新興地域 市街地ゾーン	中級住宅地域	農住工混在地域 田園文化ゾーン	農住工混在地域
滝山寺	ホテルの里・東海道藤川 宿・くらがり渓谷	岡崎城・八丁味噌蔵				
岩津高・岡崎北・	岡崎東・三河高・ 愛知産業大 人間環境大	岡崎商・岡崎西・ 岡崎学園高 岡崎短期大	岡崎高・岡崎工・ 光ヶ丘女高 自然科学研究機構			岡崎城西高 安城学園大
北斗台・			竜美ヶ丘区画整理地	緑ヶ丘・上地		
三菱自動車					マキタ	三菱自動車 フタバ産業
20	25	18	20	15	20	17
3	2	3	3	4	2	3
80	90	60	70	80	90	90
5	6	3	2	4	8	7
トヨタ近接・北部	東部・旧額田町	康生・中央部	名鉄東岡崎・中央南部	JR岡崎・周辺部	福岡・六ッ美・中島	矢作・矢作川右岸

地元住民等によるエリアマネジメントの実践による 地域包括ケアモデル

資料10 地域包括ケアを中心とした地域づくり



東日本大震災復興構想会議「復興への提言」

農山漁村コミュニティ

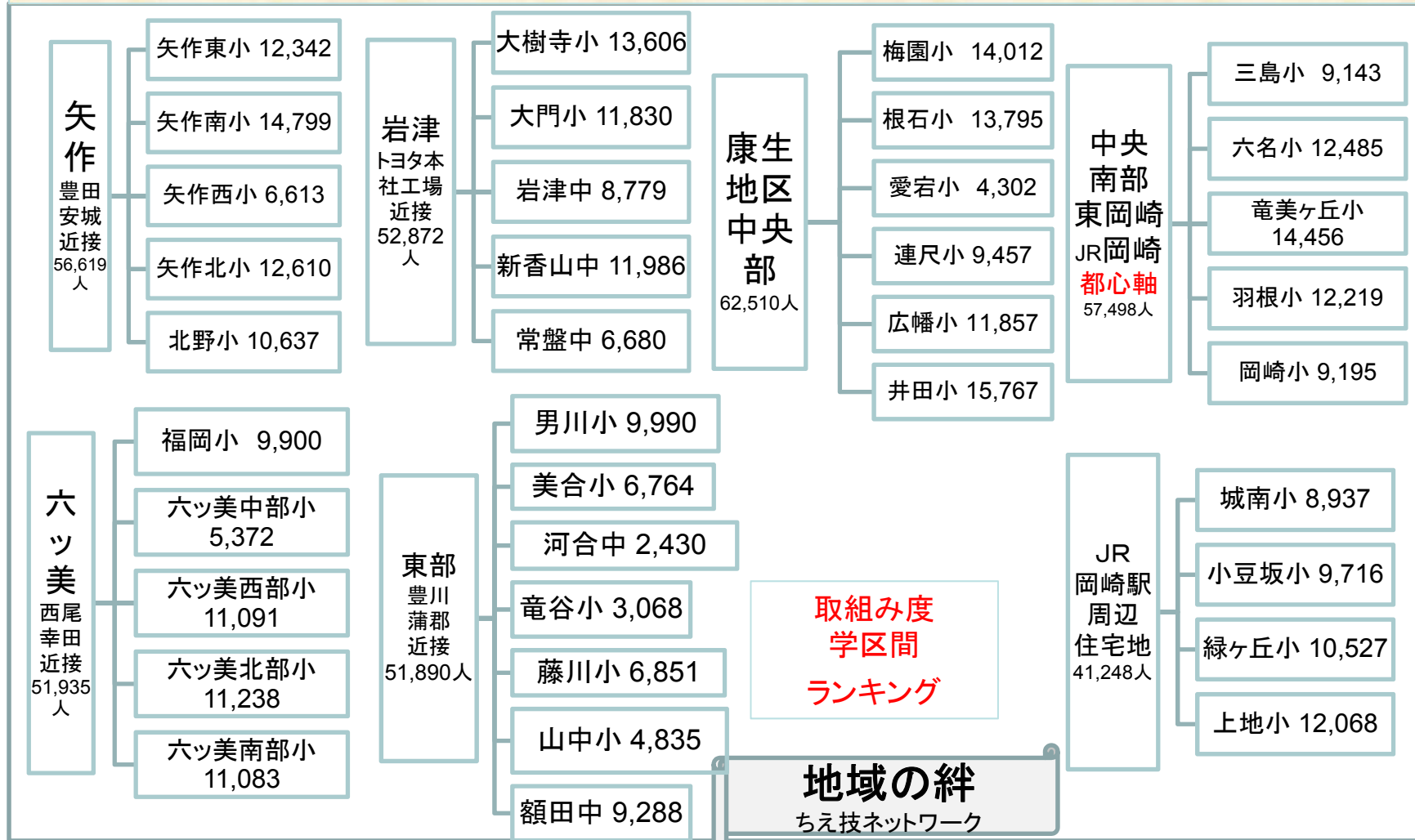
図表11 農村コミュニティのイメージ



岡崎市地域コミュニティ「地域生活基盤確保」(校区単位の共同体) 取組み

地元住民等によるエリアマネジメントの実践による、環境と共生するライフスタイルモデルの創出

日常生活圏域を基礎的な単位として、身近な地域で教育・保育・医療・介護・福祉・生活支援サービスを一体的に提供する「地域包括ケアモデル」への転換。



24時間地域巡回型訪問サービス円滑導入事業（事業1-1）

- 24時間のオンコール体制を活用した随時の訪問による『安心感』の提供
- 短時間の巡回を含む定期的な訪問による『利用者のニーズや生活スタイルに合ったサービス提供』を可能に（例：起床介助→昼食介助→服薬介助→水分補給→就寝介助→深夜の排せつ介助）
- 利用者からのコールを受診するオペレーションセンターを活用し、訪問看護や在宅療養診療所との情報共有による『医療との連携』を推進（地域の訪問サービス拠点としての機能強化）

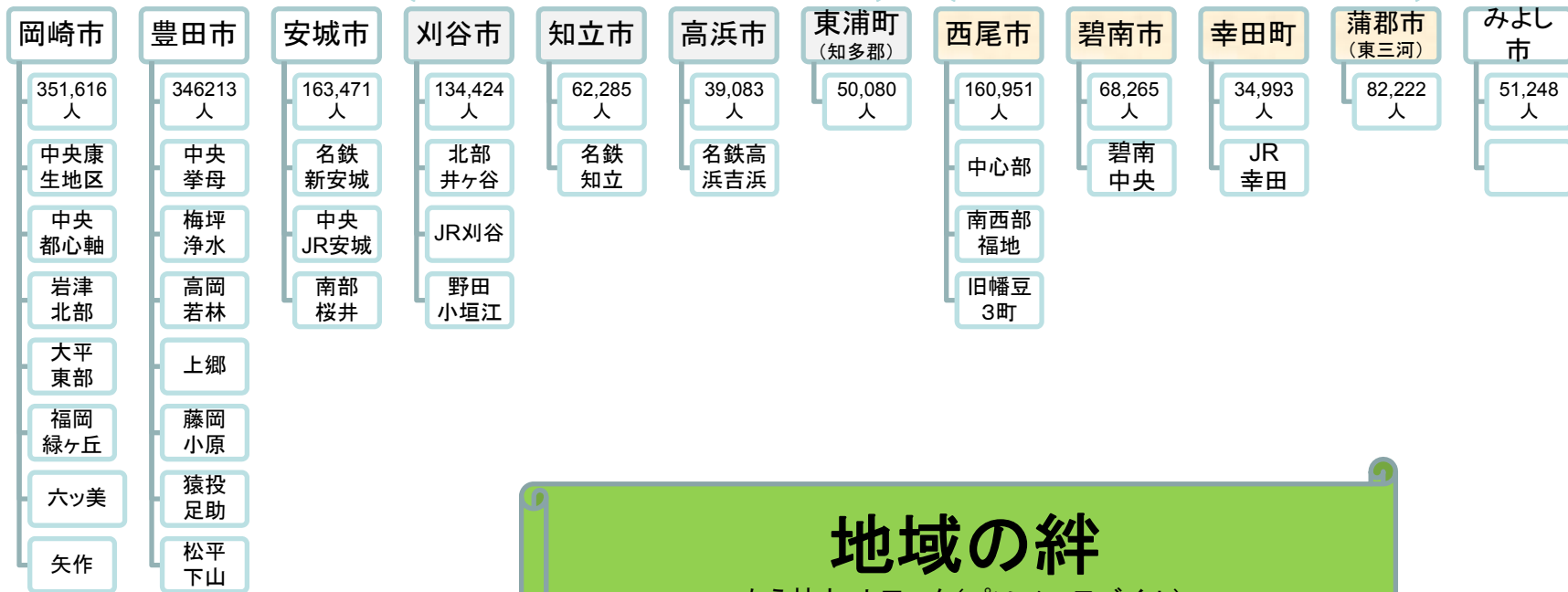
全体のイメージ図

全国100箇所で実施



東海 西三河地域 矢作川流域 **環境共生文明圏** 連携と都市間競争
 国家プロジェクト 「環境未来都市」構想モデル事業 素案提言

■概ね5万人を超える圏域



地域の絆

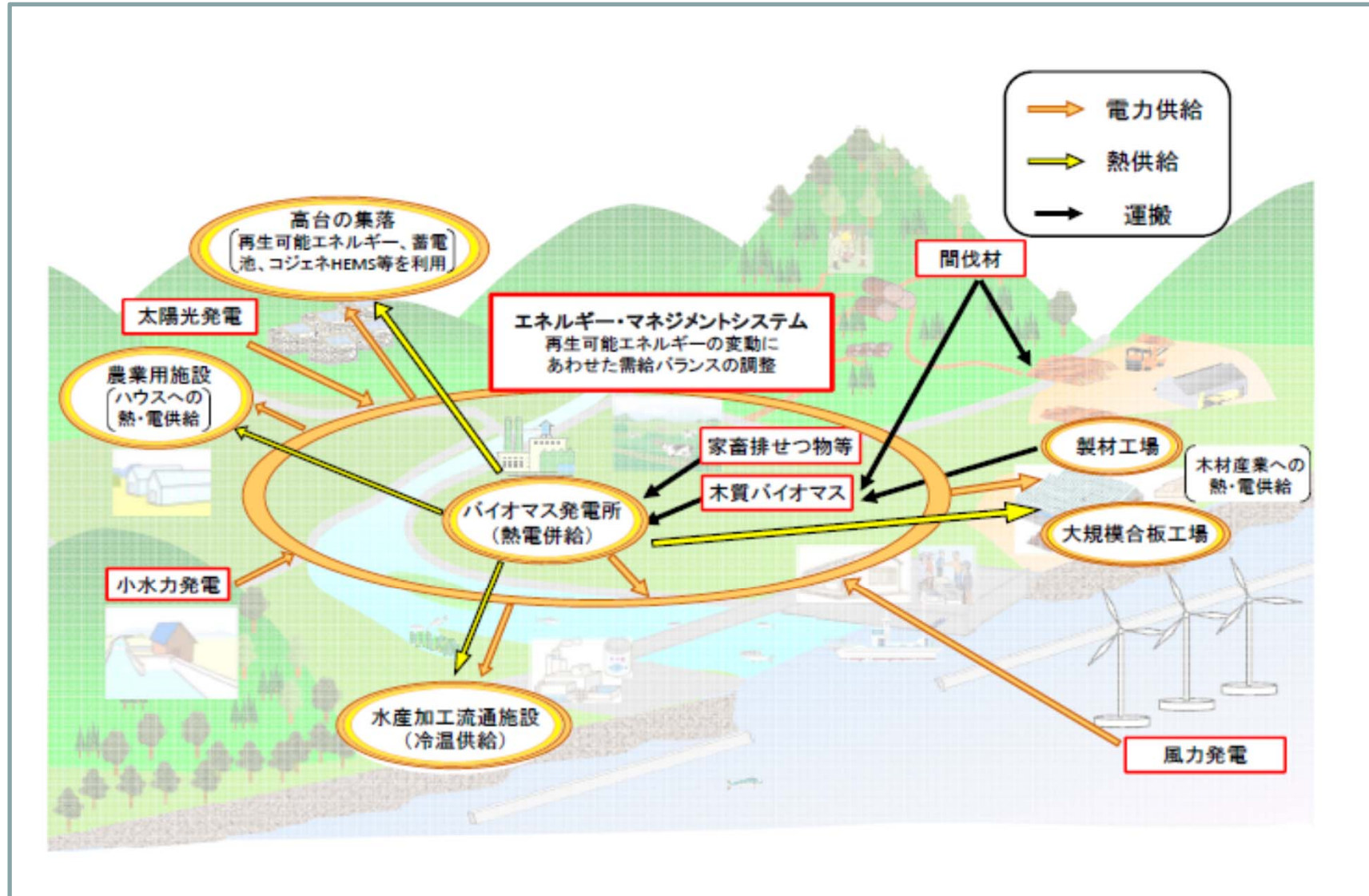
ちえ技ネットワーク(パソコン・モバイル)

上流～下流の地域住民交流情報ランキング

人口(H.23-4-1現在)

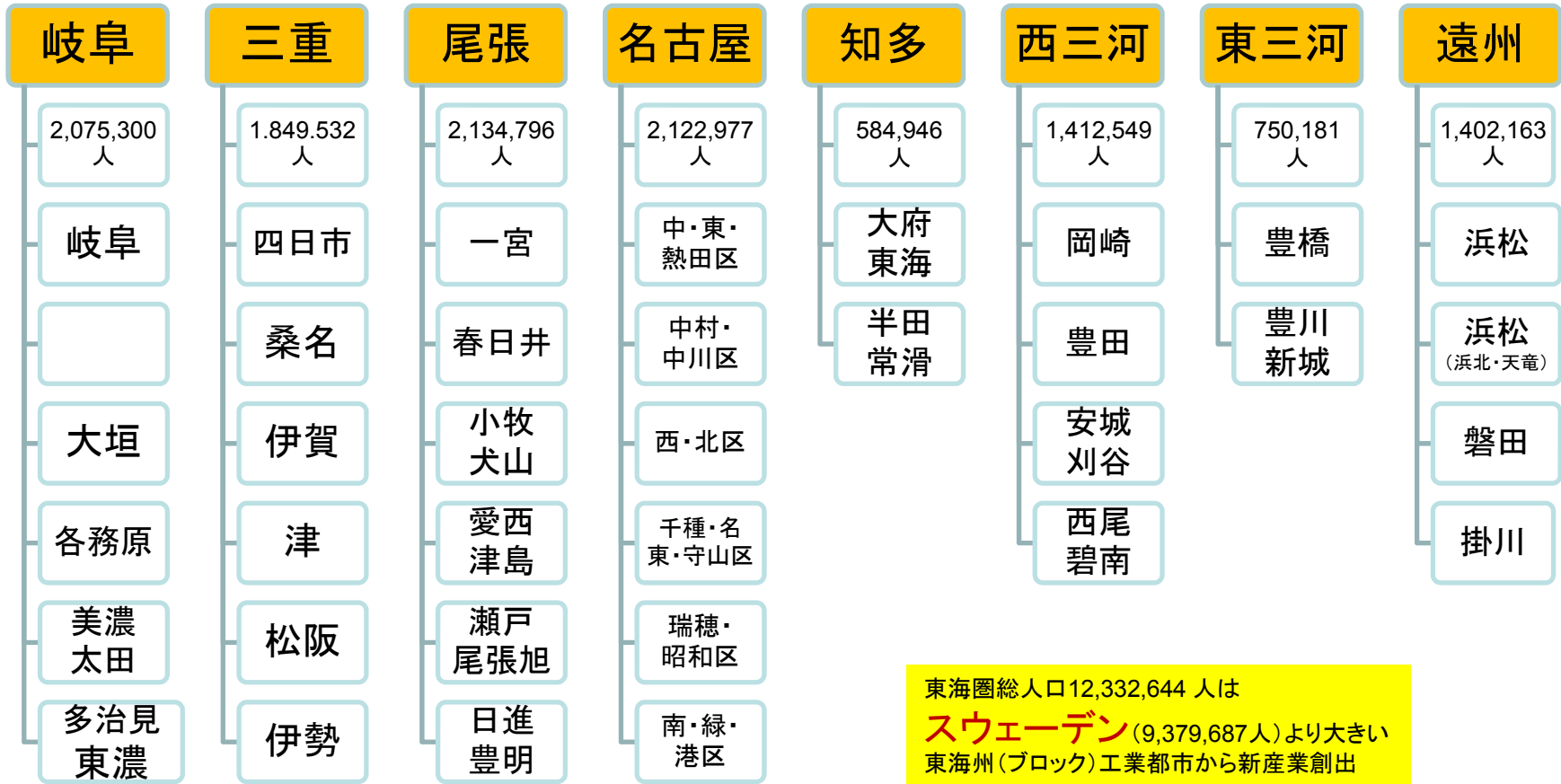
徳川家康公 生誕の地 三河武士のふるさとから 地域の自慢 我が家の自慢(自薦 他薦) 情報発信
 ソーシャルメディア・ブログメディア・パーソナルメディア・・・いままでの放送・通信でない **新しメディア** 創出

エネルギーの地産地消 スマートビレッジ



セントレアから世界へ飛ぶ。 **新産業創出** グローバル連携。

■ 概ね30万人を超える圏域 <中核都市>



東海圏総人口12,332,644 人は
スウェーデン (9,379,687人) より大きい
 東海州(ブロック)工業都市から新産業創出

徳川家康公 生誕の地 三河武士のふるさとから 地域の自慢 我が家の自慢(自薦 他薦) 情報発信
 ソーシャルメディア・ブログメディア・パーソナルメディア・・・いままでの放送・通信でない **新しメディア** 創出

JR東海リニア新幹線 首都機能移転候補地

首都機能移転
候補地(経済産業省誘致)
首都機能リスク分散
豊田藤岡/土岐/可児/瑞浪

セントレアへ20分
東京へ30分/大阪へ30分
リニア新幹線/愛知環状鉄道
新駅候補
中津川・恵那・瑞浪・土岐
東海環状自動車道
土岐南多治見IC

民産学官連携

- 自然科学研究機構
岡崎共通研究施設
- 慶応義塾大学大学院
SDM研究科



岡崎市新都心軸(通称 電車通り)モデル地区素案

社会基盤整備

「第6次岡崎市総合計画」 新都心軸(電車通り)への「地域交流・地域福祉・サービス付高齢者等共生住宅複合施設整備」 集約型都市構造に向けた取組による高齢者に優しい街づくりを目指す

- 低炭素型交通システム
スマートコミュニティコントロールセンター

都市基盤架構モデル
交通分野の対策等を

オープンソース・イノベーションで実施

いち早く**低炭素社会へ転換を実現**

新都心軸への集約による 高齢者に優しい街づくり コンパクトシティ

- ・地域包括ケアシステム
- ・ エネルギーと食料の地産地消
- ・商業・公共施設等エネルギー利用最適化
- ・再生可能エネルギー
- ・新産業創出(知識産業・健康福祉産業・等)
- ・

SI 建築物新構造システム



国際戦略総合特区

アジア 米国 EU等 グローバル連携

国際競争力強化都市/地域

九州圏域

福岡都市圏域
237万人

北九州都市圏域
148万人

四国と九州を合わせると韓国並み

中 四 国

広島都市圏域1
90万人

近畿圏域

大阪大都市圏域
1200万人

京都都市圏域258
万人

神戸都市圏域279
万人

カナダより
大きい

東海圏域

名古屋大都市圏
域 540万人

東海圏総人口
12,332,644 人

スウェーデン
9,379,687人
より大きい

首都圏域

東京大都市圏域
2900万人

首都圏全体は
フランスと
同規模

東北圏域

仙台都市圏域158
万人

東北圏推計人口,
9,312,135人
(2011年2月1日)

防災都市復興モデル
特区

北海道

札幌都市圏域231
万人

北海道総人口
5,502,944人
(2011年6月30日)

北海道全体で
デンマーク
並み

環境国際交流集積都市地域

沖縄奄美九州

霧島屋久国立公園
石垣国立公園
雲仙天草国立公園
霧島屋久国立公園
阿蘇くじゅう国立公園

瀬戸内

足摺宇和海国立公園
瀬戸内海国立公園

紀伊 吉野 熊野

吉野熊野国立公園
伊勢志摩国立公園

富士 箱根 伊豆

小笠原国立公園
富士箱根伊豆国立公園
秩父多摩甲斐国立公園

山陰北陸 日本海

白山国立公園
上信越高原国立公園
山陰海岸国立公園
大山隠岐国立公園

日本 アルプス

南アルプス国立公園
中部山岳国立公園

東北

陸中海岸国立公園
十和田八幡平国立公園
磐梯朝日国立公園
尾瀬国立公園

北海道

阿寒国立公園
知床国立公園
大雪山国立公園
支笏洞爺国立公園
利尻礼文サロベツ国立公園

①国際戦略総合特区

我が国の経済をけん引することが期待される産業の国際競争力の強化

環境・次世代エネルギー

バイオ・ライフサイエンス

農業

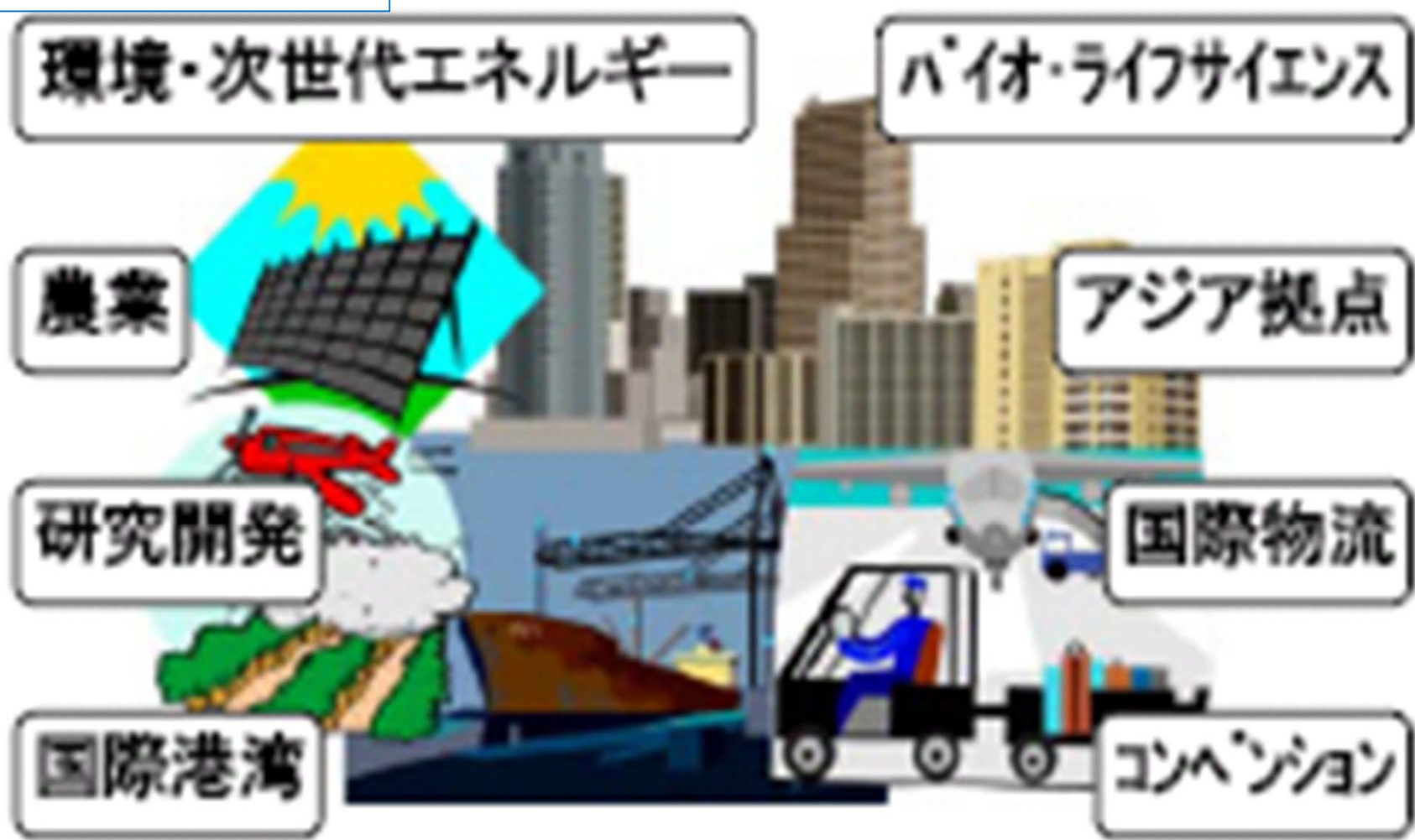
アジア拠点

研究開発

国際物流

国際港湾

コンベンション



「地域情報 ちえ技ネット」統合プラットフォーム 熟議ネット

OSS 地域活性化創発プラットフォーム

